

同風

機関紙名 鵬雲齋大宗匠
 題字 揮毫 納屋宗淡宗匠
 発行所
 (社)茶道裏千家淡交会青年部
 近畿第二ブロック
 発行人
 ブロック長
 青山 総一郎



青年部綱領

われわれ茶道を愛好する青年としての自覚により淡交会の諸活動に協力し、お茶を通じて良識ある近代人としての人間形成に努め、同志的結合によって結ばれた友情と情熱で正しい地域社会発展のために努めよう。

きました。

第二回は、九月十九日(水)アンビションにて開催いたしました。次年度部長予定者の皆様にお集まりいただき、次年度の事業計画案、ブロック分担金について等、意見交換をさせていただきますました。

平成二十四年度 連絡会会議

今年度は三回の連絡会会議を開催いたしました。

第一回は、二月十一日(土・祝)太閤園にて開催いたしました。親支部からは顧問の池田周弘様をお迎えし、青山ブロック長の挨拶のあと事業計画案など報告させていただきました。また新体制移行に伴い各青年部部長の皆様からブロックへ要望を伺わせていただきました。

幹事長 東野 佳奈

平成二十四年度 ブロック協議会

平成二十四年度ブロック協議会を二月十一日(土・祝)太閤園におきまして開催いたしました。親支部からは顧問の池田周弘様、地区委員長の吉田宗俊先生、ブロック相談役の西川宗進先生、藤井宗悦先生、各支部の幹事長先生方にご出席いただきました。

開会宣言、利休居士道歌ことばの唱和にはじまり定足数確認、来賓紹介に続き青山ブロック長を議長に選出し平成二十三年度事業報告および決算報告の承認、二十四年度行事予定および予算案について提案し、いずれも満場一致にて可決を賜りました。

その後二十五年度からの新体制移行について池田様、西川先生よりご説明をいただき、親子で新体制についての確認をさせていただく貴重な時間を持つことができました。

お忙しい中ご臨席いただきました皆様、この場をお借りいたしました御礼申し上げます。ありがとうございます。

幹事長 東野 佳奈

近畿第二ブロック 年間テーマ・目標

「温故知新」先人が築いた歴史に 感謝の心を忘れず、新たな時代に挑戦しよう!



ご挨拶
 ブロック長
 青山 総一郎

この度、今期に引き続き近畿第二ブロック長を仰せつかることになりました大阪北青年部の青山総一郎で御座います。今期はご宗家、総本部、ブロック七支部の親先生、十二青年部の皆様方のおかげ様で無事にブロック運営を務めることが出来ました。心より感謝申し上げます。

今期は当初、近畿地域が三つに分かれ三十年を迎えるにあたり、近畿第二ブロック三十周年記念茶会を企画していましたが、二〇一一年三月十一日に東日本大震災が発生し、急遽事業内容を変更する事となりました。親先生とも相談の上、親先生・学茶・青年部の共催で

二年続けてチャリティ茶会を実施致しました。過去二回、本当に多くの先生・青年部会員の皆様にご参加頂き、誠に有難う御座いました。この流れを今期もブロックが中心となって実施したいと考えておりますので、何卒前期に引き続き皆様のご協力をお願い致します。他の事業としては、会員研修会・役員予定者研修会・広報活動、さらにはブロック内だけでなく他ブロックの方々にもご参加頂いた交流事業を、淡路島・鳴門で実施致しました。皆様のお陰を持ちましてどの事業も大成功に終わることが出来ました。

平成 24 年度 行 事	
2/11	第1回連絡会会議 ・ブロック協議会(太閤園)
3/11	祈りの一碗運動(難波八阪神社)
4/28 ~29	チャリティー茶会 (生國魂神社内、参集殿・玉秀庵)
6/11 ~12	ブロック交流行事 (淡路・鳴門)
7/21 ~23	第4回サマーコンファレンス (東京ドームホテル・裏千家東京道場)
9/19	第2回連絡会会議(アンビション)
11/10	第3回連絡会会議・次期役員予定者研修会(大阪産業創造館)

平成 25 年度 行事予定

2/11	ブロック協議会 ・第1回連絡会会議(太閤園)
6/22 ~23	ブロック研修会
9/22	ブロック茶会(仮称)(玉秀庵)
12月	機関紙「同風」発行

東日本大震災 チャリティー茶会

～とどけ！西から東へ祈りの風を～

平成24年 4月28日～29日

昨年引き続き、大阪市内生國魂神社内、参集殿・玉秀庵で開催いたしました。今年も二日間で一〇〇名ものご協力をいただき誠に有り難うございました。ご賛同いただき、たくさんのお義援金が集まりましたこと皆様へ感謝申し上げます。参集殿二階の待合いは、「絆」の文字に地区・ブロック七支部にかけて七色の布で彩りました。

昨年のチャリティー茶会の写真をパソコンやタブレット端末等でスライドショーでの展示をしたところ、多くのお客さまが興味深くご覧になられているようでした。

また、昨年の写真を沢山プリントし、昨年に続き開催できた事への感謝をこめてお客様に持ち帰っていたらどうかと、ご希望の方にお渡ししました。



先生方のお席である濃茶席には炉縁、茶碗、お菓子などに桜にちなんだものが出されていきました。東北ではこの日が満開でしたので満開の桜に包まれた東北を、皆さん想像されたのではないのでしょうか。

薄茶席は青年部で担当致しました。今年は会員手作りの立礼棚を使ってお点前をしました。珍しい棚に毎席お客様には大変関心を持っていただきました。

昨年引き続き、ブロックの十二青年部が一緒になり、先生方ご指導のもとお茶会をすることができ、とても良い経験になりました。

チャリティー茶会を通して私たち青年部も、絆を再確認できたように思います。皆様ありがとうございます。

大仙青年部 嶋田美知代

今回の茶会には、去年に引き続き、近畿第二地区・近畿第二ブロックの共催、学校茶道連絡協議会の皆さまとの協力のもと一丸となってお茶会が終えたこと。日頃、接することのない他支部の青年部会員と触れ合い仲間意識が芽生えたこと。なにより、嬉しかったのはお客さまが笑顔で「楽しかったです」「これからも頑張ってください」と励まされ感謝の言葉をいただいたことです。



今回、私は去年に引き続いて誘導と案内のお手伝いをさせていただき多くを学びました。

このように復興支援を目的としたお茶会が無事に終えたのはお茶を通しての絆だと感じます。

一人のスタッフとして参加させていただいた上に、多くの皆さまの震災復興の願いを深く感じることができました。この義援金が少しでも被災者の皆様に役立つことを願うとともに、

被災地の復興への一歩になればと思っております。また、一日でも早く穏やかな生活に戻れますよう心から祈りいたします。

船場青年部 寒川一夫



- チャリティー茶会青年部席
- 床 鶴雲斎大宗匠筆 扇面 百花為誰開
 - 花入 坐忘斎御家元在判 竹
 - 香合 八つ橋 淡々斎在判箱 秀齋造
 - 蓋 蓬萊山地紋 (手作り立礼棚) 角谷和彦造
 - 水指 交趾 竹絵 鶴雲斎大宗匠箱 十三軒吉尚造
 - 薄茶器 淡々斎好在判箱 九紋春秋 近左造
 - 茶碗 坐忘斎御家元作 銘 翠路
 - 茶杓 黒銘 松竹 九代長左衛門造
 - 替 相馬焼 坐忘斎御家元箱
 - 建水 柳橋 手塚充造
 - 蓋置 寒雜造
 - 菓子器 坐忘斎御家元好在判箱 蘭竹造
 - 菓子 山吹・水 好齋造
 - 茶盆 瓢箪 木廣屋製
 - 火入れ 麦藁手 好齋造
 - 小間床 蓮月筆 月七桜 画賛 翔平造
- 平成二十四年四月二十八日・二十九日
於生國魂神社 玉秀庵

「お詰めは」「かんばやし」

坐忘斎宗匠御好

お濃茶 赤辰の首

お濃茶 玄雲の白

お薄茶 好方・白

創業四百五拾年
お抹茶の店

かんばやし ほんてん
上林春松本店
京都府宇治市宇治
TEL 0120-338866
FAX 0120-335434

販売店 直営小売店 宇治通町上林記念館
京都 高島屋 地下 露茶売場
JR京都伊勢丹地下 露茶売場
東京 新宿 伊勢丹本館露茶売場
埼玉 浦和 伊勢丹地産特産露茶売場
石川 金沢 伊勢丹地下 限高料品売場

■カタログ進呈■地方発送承ります。
<http://www.shunsho.co.jp/>

坐忘斎家元好み
和親棚

一九〇、〇〇〇円
(消費税込・送料別)

お問い合わせ先
株式会社 ミリエーム

〒602-0006 京都市上京区小川通寺之内上る2丁目禅昌院町648-1
TEL (075) 451-5111 FAX (075) 451-7484

新部長紹介



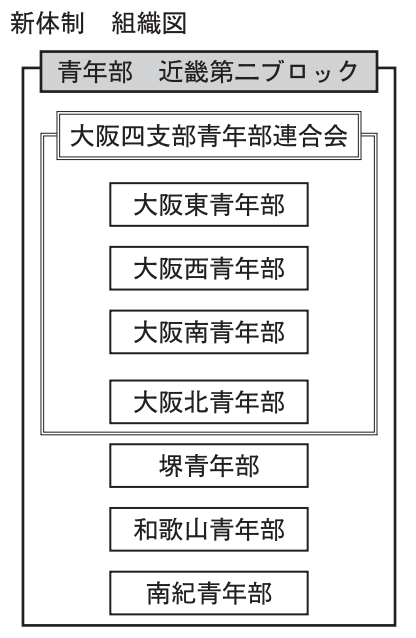
大阪東青年部部長
神藤 佳浩

この度、大阪東青年部の部長を拝命することになりました。神藤佳浩です。本年は船場青年部の部長を務めております。ここまで、多くの皆様のお力添えを頂いてやってまいりました。本当に心より御礼申し上げます。

さて、ご存知の通り来年二〇一三年度より二十年積み重ねたそれぞれの歴史を

平成二十五年より、青年部は親支部との親子関係を強め、青年部本来の姿に立ち返る事を目指し、一支部一青年部体制となります。近畿第二ブロックはこれまでの七支部十二青年部体制より、七支部七青年部体制で新しい年度のスタートを切ります。

新体制スタートの年に就任される七名の部長をご紹介させていただきます。



経て、船場青年部と御堂青年部が合併し、新しく「大阪東青年部」として生まれ変わります。

私たちは、「お茶を通じて、様々な学び舎」として、それぞれの青年部が歩んできた歴史と伝統をふまえながら、過去に囚われすぎることなく、船場でも御堂でもない、新しい「東青年部文化」を作り、なお一層の発展を目指していかなければなりません。そのためにも、変化を恐れることなく、お茶人らしい思い、青年らしいチャレンジ精神を

もって行動していきます。

そして新生大阪東青年部を、今まで以上に活気があり、所属していただいているメンバーが、「青年部で活動してよかった」と思っていただけの組織にする。とを誓い申し上げます。最後になりましたが、平素よりお世話になっております。親先生はじめ諸先輩方に対して深く感謝申し上げますと共に、今後とも青年部活動へのご指導ご鞭撻をいただけますよう、お願い申し上げます。拝命のご挨拶とさせていただきます。



大阪西青年部部長
山北 康博

平成二十五年、二十六年度の大阪西青年部の部長をさせていただきます。山北康博でございます。青年部が新体制となる節目の年に部長という大役を拝命し身が引き締まる思いでございます。来期の二年間は十年後、二十年後へと続く大阪西青年部の基礎を築く準備の二年間と思っております。来期の目標としてはとにかく「楽しむ」、そして「育て



大阪南青年部部長
津和 邦明

この度、次年度 大阪南青年部部長をおおせつかりました。津和 邦明でございます。先ず、永和青年部部長時代には、親先生並びに諸先輩方に数多くの叱咤激励を頂戴したことで青年部活動の励みとなりました。本当にありがとうございます。

次年度は永和・なにわ両青年部が合併し、南青年部

る」の二点を考えております。どの活動もそうだと思いますがなによりまず参加して楽しいと思うことが大切だと思います。お茶が楽しい、お茶会が楽しい、青年部が楽しい。この楽しい気持ちこそが大阪西支部青年部の諸先輩方が我々に教えた伝えてきていただいた一番大切なことだと思っております。それと来期は新しい試みとして会員開発委員会を作ることにいたしました。新人の募集と教育を担当する委員会です。

青年部の歴史や組織のこと、事業や茶会、そして修練・奉仕・友情を理解しての部長という大役を引き続き、引き受けることになりました。皆様には今まで以上の御指導を賜りますようお願い申し上げます。さて、この合併初年度の過渡期には、旧青年部の価値観や慣例、また運営上の進め方の違いなど多様な試練が待ち受けていると考えています。しかしながらそれらの事は、互いの青年部の良い部分、悪い部分を皆でしっかり精査した上し理解・認識する事で、新たな青年部の文化の基礎を構築して行くとともに、確実に次の時代に引き継げるよう

な体制作りを推進したいと思っております。また、新たな試みに対してもどのようにアプローチして行くかをしっかりと議論を交わし、前向きに行動できるように、会員相互の気持ちをより良く高めてけるような雰囲気を作っております。最後になりますが親先生を初め、諸先輩方のご支援を賜りながら、頑張っておりますので何卒宜しくお願い申し上げます。



大阪北青年部部長
松山 大祐

この度、大阪北青年部部長を拜命することとなりました。松山大祐と申します。今期は大阪北支部天神青年部の部長を務めさせて頂きました。親先生、諸先輩のご指導、そして会員のみなさんのお力添えのおかげで大過なく部長を務めさせて頂いた。心より御礼申し上げます。

新青年部がスタートするこの節目の期に部長という大役を仰せつかり、身の引



堺青年部部長
芦田 佳世子

お家元様、ご宗家ご一同様、総本部の皆様、親先生、青年部の皆様、多くの方に支えて頂いて、今日まで青年部を続けていくことが出来ました。心より感謝申し上げます。このたび新しい堺青年部の部長を拜命し、先輩方の守ってこられた「利休居士のふるさと」の青年部としての活動を伝えていくために、これから私に何が出来るのか、甚だ不安

き縮まる思いです。また一方で親先生、諸先輩のご指導のもと会員みんなで力を合わせて新しい青年部をつくっていくことに楽しみも感じております。

大阪北青年部は、天神青年部となりにわ津青年部とが合併して誕生します。同じ支部にありながらも、それぞれに諸先輩・会員皆で育んできたすばらしい個性があります。

天神青年部をひとことというなら「楽しむ」。なにわ津青年部をひとことというなら「おもてなし」。お茶を学ぶものにとって大切な「おもてなしの心」と青年部活動を行ううえで大切な

なことがかりではございますが、精一杯努めて参ります所存です。何卒お導きください。どうぞよろしくお願い申し上げます。かの「南方録」には、南宗寺を始め、堺の地名が多く登場いたします。このご挨拶に際し今一度「堺」を探してみたくなり読み返してみますと、地名だけに限らず、その心は青年部にも通じる場所があると気付かされました。例えば「宗易は、野遊び(野点)などに決まった法(ルール)はないが、根本の核はきちんと備わっていないければならず、興が乗りすぎて雑談の席に

「楽しむ心」。この過去に培ってきた二つの個性がたくさんのプラスの相乗効果となり、新しい大阪北支部の個性をつくり、その個性がこれからの大阪北支部の礎となっていくのではないかと

思います。大阪北青年部全員でおもてなしの心と楽しさにあふれる青年部をつくりたいと思っております。

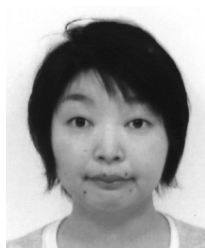
末筆となりましたが、御宗家の皆様、総本部の皆様、親先生・諸先輩方に深く感謝申し上げますとともに今後ともご指導頂きますよう宜しくお願い申し上げます。

なってしまうてはいけませんと仰せです。青年部の活動も、楽しむときは力いっぱい楽しむ、ただし基本のお稽古をしっかり守ることが必要なのだ、と私なりに解釈しています。一生懸命お稽古に励み、さまざまな知識を得、そして茶友を招いて心のこもったおもてなしができるようになるれば、どんなに楽しいことでしょうか。その茶友に出会えるのが青年部なのだと思います。青年部の先輩方が教えてくださったそんな楽しさを、皆様と共有できるように精進して参りたいと存じます。



和歌山青年部部長
山口 優子

この度、吉備部長の後任として近畿第二ブロック和歌山青年部部長という大役を拜命させて頂きました。今年度、地区大会をはじめさまざまな事業への参加を予定しております。私自身、茶道経験はまだまだ初心者ではありますが、礼儀作法はもろもろのこと茶道における深い教えを私なりに感じ、勉強させて頂きたいと意気込んでおります。皆様



南紀青年部部長
山口 優子

私たちの南紀青年部は若千十名の少数青年部です。貴重なこの十名の部員です。全員が揃うことは難しく、各種のイベントなどに参加できる人も限られています。この少人数でも何とか乗り切らせてもらえるのは、南紀支部の先生方の助けはもちろんのこと、支部に入っていない身近な方々や、地元茶道部の高校生たちの協

方に教えて頂くことばかりだとは思いますが、精一杯頑張りますのでお力添えを何卒よろしくお願い致します。和歌山青年部での活動を通して、友情と思いやりの心を育み、各人それぞれが何かしらの気付きを得られるような場となるべく邁進致します。ひとりでは成しえない事も、和歌山青年部が一丸となって取り組むことで素晴らしい事業を展開して行くことができると考えております。事業活動を通して、その活動結果のみならず、心の成長にも繋げて行くことができるよう取り組んで参ります。また

としても、「お茶」というものを深く感じることはできなかったかもしれない。ですが、深くその意味を理解できないとしても、小さな頃から「お茶」とかかわっていたならば何か変わるのではないかと思います。今のこの想像力の欠如した人々が増えている時代だからこそ、本来の「日本の心」を伝える茶道がたくさんの人々に広まればいいと思います。そのために、この地域で皆さんと協力し合い、色々なイベントにも参加し、「お茶」の楽しさを伝えるべく、地道に活動していきたいと思っております。

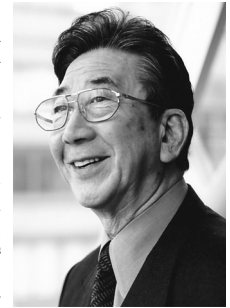
力なくしてありえませんが、色々な方々との縁の大切さを思い知ることができました。この縁を広めていく一つとして、小学校や中学校などで、日本の文化を身に付けるための基礎を学ぶ茶道の授業を設ければいいの、といつも思います。私自身、もっと早く時間も体力も今以上にある時期に茶道と出会っていたら、今とはまた違った自分に出会っていたのではないかと、今からこのように気持ちになつたのであつて、もっと若いうちに出会っていた

和歌山青年部の枠だけにとどまらず、近畿第二ブロックの皆様方とも広く積極的に交流できる機会を持ればと考えております。いろいろなご意見をお聞きしながら足並みを揃え、歩みを進めて行きたい所存です。歴史ある奥の深い茶道の世界に、和歌山青年部長として参加させて頂ける事、心から光栄に感じるとともに、その重責も感じております。今後とも、大宗匠様、御家元様をはじめ、親支部先生方にはより一層の変わらぬご指導、ご鞭撻を賜ります様よろしく申し上げます。

設立三十周年に寄せて

近畿第二地区 地区長

原田 収様



平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。この度は青年部近畿第二

ブロックが結成三十周年の記念すべき佳き日を迎えられましたことは誠にありがとうございます。一口に三十周年と申しませんが、今日に至る経過にお

きましては御宗家はじめ皆様方のご指導ご支援のもとに淡交会青年部近畿三ブロック発足記念総会が昭和五十五年十二月七日に大阪市中央公会堂に於いて盛大に式典が開催され、初代第二ブロック長に中谷庄八様をは

歴代ブロック長

昭和56年・57年	中谷 昭 八
昭和58年～平成2年	松野 隆 一
平成3年～6年	池田 周 弘
平成7年～12年	阪本 勝 義
平成13年～16年	廣田 元 孝
平成17年・18年	小森 克 也
平成19年～22年	八木 宗 新
平成23年～24年	青山 総一郎

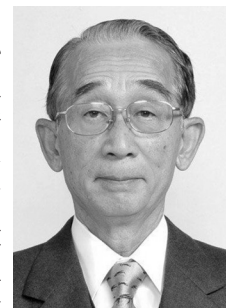
じめとして関係各位におかれましてはその間、平成四年台湾海外青年奉仕隊青年部三十周年事業、平成六年関西空港開港記念ロサンゼルス大会、平成二十二年豪州ミッシヨン青年部六十周年記念事業裏千家海外奉仕隊としてすばらしい実践躬行の場を体験され並々ならぬご努力の賜でありますことを推察致しますとき、なお一層の感慨無量のお慶びの御事と存じ上げます。日本を代表する茶道の精神は独自の哲学のもとに心の教養にとつて最も大切な躰と礼儀を学びます。「一盃からピースフルネスを」と「一盃で感謝・合掌・仕え合い」のスローガンのもとに強い絆で結ばれた茶道は日々精進を重ねることにより自然のうちに自分自身のものになっていきます。昨今の殺伐とした世の中

にあつて家庭内暴力や校内でのいじめや恩愛なき師弟関係等々数え切れないほどの悪事が毎日のように報じられています。こうした世の中を平和で豊かな思いやりのある礼節深い心をもつ日本人を醸成していかなければなりません。茶の心はこうした人間形成にとつて茶道の眞の相を学び生かしていかなければなりません。弊社におきましては茶道部を設けて点てられた一盃に感謝をささげ素直に一盃をいただくことから稽古が始まり、又茶道を通じて多くの方々との出会いや交流が深まっていく喜びは計り知れないものがあり筆舌に尽くすことはできません。今後共末永く「一期一盃」を大切にして精進を重ねていきたいと強く希っております。結びになりましたが貴第二ブロックの皆様方が茶道を通じてこれからも末永く地域社会と共にご隆盛されますことを心から願ひたい御宗家ご一同様と会員各位の益々のご発展とご健勝を御祈念申し上げ祝辞の挨拶と致します。

合 掌

初代 ブロック長

中谷 庄 八 様



私の手許に昭和五十三年十二月発行の“大青”があります。

“大阪を緑にしよう”緑の茶会開かれる、の見出しで大阪の緑化意識向上に努力した歴史が記載されています。

初代、秋山圭市部長から昭和四十九年にバトンタッチされた故・井上良昭さんから「中谷君一寸手伝って」と言われ、大阪青年部の会合に出席したのが裏千家青年部とご縁の始まりでありました。井上さんも私も大阪青年会議所の会員であったので、お茶の青年部も社会との関

想い出に残っています。そして記念として寄贈した枝垂れ桜六本は、今では立派に成長し、毎年見事に花を咲かせていることと思います。又、その年に成人になる青年達を対象にした「青年の茶会」等、社会との関係を考えた行事も行いました。

この様に発展して来た青年部を三分割し、更に効果的な活動をすべく昭和五十五年一月七日、大阪中央公会堂で近畿三ブロックの発会式典が行われ、現御家元のご出席を仰ぎ、三人のブロック長に承認証が手渡されました。第一ブロックは大山義朗氏、第三ブロックは岸本晃一氏、そして第二ブロックは中谷が、それぞれブロック長を拝命しスタートしました。ブロック間の交流も行い、南紀や奈良、京都、兵庫を訪問した事は楽しい思い出です。

その後、私を含め役員は時代に即して若返りを行い、各支部が充実した活動ができるようバックアップしている事と思ひます。時代は変わり、人も変わりますが、日本文化の象徴である裏千家茶道が益々充実、発展する事を心より祈念致しております。

若い人たちが略益点前をさ

近畿第二ブロック

昭和五十八〜平成二年
ブロック長

松野 隆 一様



大阪市中央公会堂に於いて、淡交会青年部の三ブロック発足記念総会が午後一時より坐忘齋御家元御臨席のもとに盛大な式典が行われました。

このように正確に書けるのも、実は大阪四支部青年部の二十周年記念誌が発刊されたからであります。当時の記念誌作成プロジェクトチームリーダーの中谷庄八氏のご尽力の賜物で、小林宗白委員長以下の各支部青年部の方々のご努力があればこそと、今振り返って懐かしく思い出されます。

さて、当時を思い出すと、井上良昭先輩から突然呼び出しがあり、昼食をおごるから集まって欲しいと言われたことから、裏千家淡交会との出合いが始まりました。私は大阪青年会議所の現役ですから、先輩の呼び出しに行かない訳にはいきません。しかし、何で呼び出されたのかわからないままフランス料理を賞味しま

した。その4人は中谷氏、水山章氏、盛清久氏と私でした。井上氏から趣旨説明があり、裏千家の組織を強化するためJCのような組織を整備を進めたいから力を御貸し願いたいとのことでした。そして何もわからぬまま、東は私、西は水山氏、南は中谷氏そして北は盛氏と指名があり、全員それに従い活動を開始したことを懐かしく思い出します。(私は当時三十七歳、JCの現役で、茶楽会の会長、私だけ卒業時(四十歳)の薄茶点前がでずに四十一歳まで会長を務める羽目になる落第生でした)

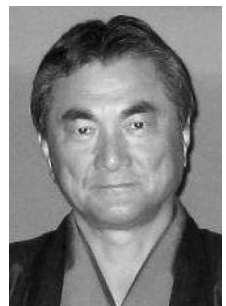
“光陰箭の如し”といいますが、昭和五十三年青年部が四支部に分割され、「緑の茶会」を大阪城西の丸庭園で開催し、その基金を大阪市の緑化基金として「枝垂れ桜六本」記念植樹しました。大阪城天守閣正面が見える公園の噴水前に毎年美しい枝垂れ桜を見ることができず。若木が成長して三十数年の老木となっています。是非来年四月に見に行つてやって欲しいものです。

そして、私が懐かしくそして今でも当時の御世話になった方々を思い出すのは、「日中友好文化交流裏千家親子青年の船」に、団員の一人として参加したことが忘れられません。三ブロック長(大山、松野、前田)と共に、天津、北京、青島を「日本丸」に乗船し訪問したことです。船中での茶会、特に中尾宗勢氏には大変お世話になりました。訪問先の人民大会堂での茶会など苦労したことは沢山ありましたが、他の支部の親先生方の奮闘ぶりには感銘を受け、それに刺激を受け青年部も負けてはいられないと頑張った記憶が懐かしく思い出されます。当時にご一緒頂いた親先生方も他界された方も多く、茲に謹んでご冥福と感謝の御霊を捧げたいと思います。

最後に、私たち青年部の人は、『二盤からピースフルネスを』のテーマのもとに、それを具現化するための活動を今後も続けて頂きたいと強く願っています。混迷する世界情勢や社会状況の中、このテーマこそ世界共通の基盤になりうる理念ではないかと現在でも思っています。鵬雲斎大宗匠の提唱されたテーマは、二十一世紀に於いてもお隣の中国・台湾とも友好の絆を育んでいける民間友好の懸け橋となると考えます。どうぞ末永く青年部のご発展と益々のご活躍を祈念しております。

平成三年〜六年
ブロック長

池田 周 弘様



近畿第二ブロック三十周年を心よりお慶び申し上げます。

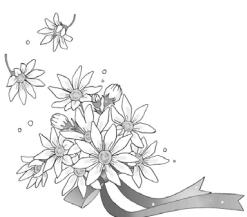
私が、ブロック長をつとめました平成三年から平成六年は、淡交会青年部が誕生して四十年が経ち、二十一世紀を展望し、自分が主役となる、新しい時代に即応した青年部づくりが進んでいた時代でした。

平成四年「新青年部発足」、ブロック二十五周年記念「事業青年奉仕隊」として、大勢の親支部先生と共に台湾を訪れ、円山大飯店で台湾政府の要人を招き大茶会を催し友好親善を果したしたこと、平成五年「近畿第二ブロック十二青年部合同発会式」を、当時若宗匠であられた坐忘齋御家元、故伊住宗晃宗匠をお迎えして盛大に開催したこと、平成元年関西空港開港記念、環太平洋ヨットレースロスコーズのスタートのセレモニー、「日本文化との出逢い、ロサンゼルス大茶会」をロサ

ンゼルス支部と共に行つたこと、数々の楽しい思い出で飾られた充実したブロック長時代をおくらせて頂きました。

親支部先生のご支援、ブロックスタッフの献身的な活動、青年部会員の積極的な取り組みが、大きな成果をもたらしたし、ブロック発展の礎となる当ブロックの伝統は、秋山初代近畿第二ブロック長、中谷初代近畿第二ブロック長の時代から脈々と受け継がれて参りました、坐忘齋御家元、鵬雲斎大宗匠のお導きのもと三十周年を契機として、良き伝統を築いてきた先人の尽力に思いを巡らせ、青年部の皆さんが一層精進され、茶道の素晴らしさを実感し、青年部での友情を構築し、お茶の心の啓発を中心とした時代に即応した活動をされますように期待しています。

私たちが青年部で得た素晴らしい体験を青年部の皆さんに、是非味わってほしいと願っています。



平成七〇十二年
ブロック長

阪本 勝義様



近畿第二ブロックが三十周年を迎えられました事を心よりお慶び申し上げます。その間、坐忘齋御家元、鵬雲齋大宗匠の指導を頂き、大きな成果を積み重ねられ、宗家お膝元のブロックとして恥ずかしくない立派なブロックに成長された事に敬意を表します。

これも偏に、ブロック内の親先生方、秋山圭一先輩、中谷庄八先輩、松野隆一先輩、池田周弘先輩をはじめとする先輩諸兄の御指導と時代時代の会員各位の努力の賜と感謝と敬意を申し上げます。

思い起こしますと、私がブロック長をさせていた頃は社会の変化に対応した新しい時代の新しい青年部にするため、会員がより楽しめる青年部にする組織改革を行ない七青年部から十二青年部になり、各青年部において個性ある様々な事業が行われた時期でした。

また、新青年部二十一世紀ビジョン「スピリッツ二十一」の3S、ストライブ・より高いものを求めて努力する、スタディ・自身を高めるために修練する、サーブ・豊かな社会づくりに奉仕する（世界平和のために）の基本理念を浸透させることが大切でした。

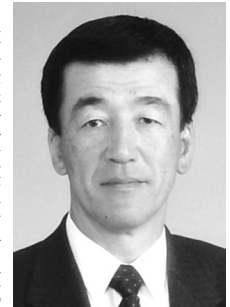
青年部が行うべき事とブロックが行うべき事を明確にして、ブロックの事業を組み立てることにしました。そして、ブロック研修会を最重点事業とし、未来に向かっている青年部活動のための自己啓発と活動の一助とするため、ブロック研修会と青年部の基本理念と目的を理解し、公益社団法人としての組織運営を身につけ、実技向上の研修も行い、交流の場が少なくなっているブロック内の各青年部の情報交換と友情を育むことに重点を置き、ブロック研修会の充実を基本に活動し

当時の西川副ブロック長や委員長の方々と楽しく厳しく活動したことが良い思い出です。

竹は節があるから強いと言います。三十周年を大きな節目として強く発展することを願っております。

平成十三〇十六年
ブロック長

廣田 元孝様



茶道裏千家淡交会青年部近畿第二ブロック設立三十周年誠にめでとうございます。

大宗匠様、御家元様、御宗家の皆様、総本部、親先生のお導きの下、十二青年部の皆様が、お互いに協力しブロックを盛り立ててこられたからこそ記念すべき年を迎えられたことと敬意を表します。

私は平成十三年阪本勝義ブロック長の後任としてブロック長を拝命し二期四年務めさせて頂きました。また平成十五年、十六年には併せて全国代表者会議議長も務め、得難い経験をさせて頂き感謝致しております。

さて書棚にある当時の「同風」を見ますと平成十三年二月に「茶道フォーラムIN和歌山」と称し御家元（当時は若宗匠）をお迎えし和歌山マリーナシティで近畿二ブロック共同でフォーラムを開催、六月には第九回裏千家青年の船が天津、

北京、大連に向けて出帆。ブロックからは十六名が乗船。私は初めて参加しました。若宗匠を団長に三五〇名で構成「心の絆」をテーマにお茶を中心とした多彩なプログラムで楽しい思い出になりました。

平成十四年には青年部発足十周年記念旅行で松江、出雲に行き山陰ブロックの皆様のお世話で第十一代長岡住右衛門氏の楽山窯、松平不昧公のお茶室等を拝観することが出来ました。翌十五年三月には近鉄電車を貸し切って伊勢方面に日帰り旅行に行きましたが、この時は東海ブロックの皆様にお世話になりました。九月には第十三回全国大会（坐忘齋若宗匠御家元継承記念）が開催され全国十六ブロックリレー茶会で大会を盛り上げると共に、御家元の継承を寿ぎました。

さて、楽しかった思い出を書き連ねてしまいました。ブロックは青年部間の連絡調整機関であり懇親の場として他ブロックと交流出来る場だと思えます。出向される方は忙しくて大変だとお察ししますが是非皆様で知恵を出しあってお楽しみください。今後益々のご隆盛を祈念いたしております。

平成十七〇十八年
ブロック長

小森 克也様



近畿第二ブロック三十周年おめでとうございます。三十周年を迎えるにあたり、これまで諸活動にご協力いただきました。お家元、宗家の皆様、総本部、親先生、先輩方のご指導に心より感謝申し上げます。

三十年の内、二十年以上をブロックで過ごしました。始めは自分が楽しむだけでしたが、最後の十年は、役員・全国委員として、企画・運営に携わることになりました。

私が副幹事長・幹事長の頃は、研修会も予算が限られており、研修会場もお金のかからないお寺や公営施設が多く、内容もスタッフ手作りのものが多かったように思います。そのため委員会の負担も大きく、大変苦勞しましたが、終わった後の充実感も大きなものがありました。現在では会員が減ったこともあり、スタッフに負担をかけるようです

が、これは致し方ないことなのかもしれません。ブロック長のときには、全国大会において近畿第一ブロックとともに茶席を担当させて頂いたことも楽しい思い出です。アピールタイムも、近畿第二の結束を固める、よい機会でした。

ブロックスタッフ時代からの友人で、私がブロック長に指名した八木新君が、ブロックの発展に尽くし、海外交流事業まで成し遂げようとしたその直前に急逝されたことは、非常に残念でなりません。

利休居士から続く四百年以上の茶の道の歴史の中で、私がお茶に関わらせて頂いているのは、次の百年、二百年につないでいくための一部を担わせてもらっているのだと思っています。八木君ももちろんその一部をしっかりと担ってくれました。

今、青年部で活躍されておられる皆さんがさらに次を担い、つないでいってくださることを心から期待いたしますとともに、私も陰ながら応援させていただきます。



近畿第二ブロック設立三十周年
十年の歩み(二〇〇三年～二〇一二年)役員・出向員名簿

2005～2006年度					
役職名	氏名	支部	青年部名		
顧問	秋中山圭市	大阪南			
	中谷野隆一	大阪南			
	松野周弘	大阪東			
	池田勝元	大阪東			
相談役	廣田宗弘	大阪北			
	村西川宗進	大阪西			
	伊藤藤宗秀	大阪南			
	宮田川宗謙	大阪北			
	坂吉川宗幸	和歌山			
	深見宗宗	南紀			
	日浦宗美	南紀			
ブロック長	小上森克也	堺	大仙		
副ブロック長	島岡一和	大阪東	船場		
幹事長	田田隆明	大阪西	しのめ		
	小林千恵	大阪北	天神		
ブロック委員	小藤澤輝	大阪東	御堂		
	嶋原村平	大阪西	しのめ		
	上村豊	大阪南	永和		
	生駒安伸	大阪南	なにわ		
	中沢尚	大阪北	天神		
	立岡	南紀	泉		
			きのくに		
会計	古川泉	大阪南	永和		
監事	岩城佐地	大阪南	なにわ		
	榎垣由美子	大阪北	なにわ		
第一部会					
委員	角谷和彦	大阪西	なみはや		
	脇島弘	大阪東	船場		
	坂本耕一	大阪東	御堂		
	盆子原尚美	大阪西	しのめ		
	逸谷澤嘉庸	大阪南	永和		
	山見和久	大阪北	天神		
	阿添雅良	大阪北	なにわ		
	佐形伯一	堺	和泉		
	吉備万里	和歌山	仙州		
	西川由紀子	南紀	きのくに		
	第二部会				
	委員	八田範子	大阪北	なにわ	
松本康隆		大阪東	船場		
千田孝子		大阪東	御堂		
高井英弘		大阪西	しのめ		
土谷和弘		大阪西	なみはや		
吉向翔平		大阪南	永和		
抱理子		大阪南	なにわ		
文七		大阪北	天神		
宮本雅貴		堺	和泉		
松井貴裕		和歌山	仙州		
斎藤裕子		南紀	きのくに		
第三部会					
委員	宮崎悦郎	大阪東	御堂		
	明石真一	大阪東	船場		
	鍵野成夫	大阪西	しのめ		
	九ノ池成由	大阪西	なみはや		
	小泉誠	大阪南	永和		
	寺崎治子	大阪南	なにわ		
	福島志守	大阪北	天神		
	正尾里佐	大阪北	なにわ		
	尾崎亜とみ	堺	和泉		
	永井裕昌	堺	大仙		
中植昌代	和歌山	仙州			

2003～2004年度				
役職名	氏名	支部	青年部名	
顧問	秋中山圭市	大阪南		
	中谷野隆一	大阪南		
	松野周弘	大阪東		
	池田勝元	大阪東		
相談役	村西川宗進	大阪北		
	伊藤藤宗秀	大阪西		
	宮田川宗謙	大阪南		
	坂吉川宗幸	大阪北		
	深見宗宗	和歌山		
	日浦宗美	南紀		
ブロック長	廣田森克也	大阪南	永和	
副ブロック長	島岡一和	大阪東	船場	
幹事長	田田隆明	大阪西	しのめ	
	小林千恵	大阪北	天神	
ブロック委員	小藤澤輝	大阪東	御堂	
	嶋原村平	大阪西	しのめ	
	上村豊	大阪南	永和	
	生駒安伸	大阪南	なにわ	
	中沢尚	大阪北	天神	
	立岡	南紀	泉	
			きのくに	
会計	古川泉	大阪北	天神	
監事	岩城佐地	大阪南	なにわ	
	榎垣由美子	大阪西	しのめ	
第二部会				
委員	長松篠美加	大阪東	船場	
	内野康恵	大阪東	船場	
	宮崎悦郎	大阪東	御堂	
	合秋川山	大阪西	しのめ	
	逸佐伯利津	大阪西	しのめ	
	山北谷博	大阪西	なみはや	
	土宮澄和	大阪西	なみはや	
	吉谷向翔	大阪南	永和	
	谷逸澤	大阪南	なにわ	
	抱見真理子	大阪北	天神	
	西田由貴子	大阪北	なにわ	
	八阿形田	大阪北	なにわ	
貴香代子	堺	和泉		
佐伯一美	堺	和泉		
宮本雅代	堺	大仙		
砂久由紀子	和歌山	仙州		
廣西齊藤	南紀	きのくに		

2011年～2012年度				2009年～2010年度				2007～2008年度			
役職名	氏名	支部	青年部名	氏名	支部	青年部名	氏名	支部	青年部名		
顧問	秋中山 圭市 中谷野 庄八 松野 隆一 池田 周弘 阪本 勝義 廣元 克孝 小森 元也 榎直 尚	大阪南 大阪南 大阪東 大阪北 大阪東 大阪南 堺 和歌山		秋中山 圭市 中谷野 庄八 松野 隆一 池田 勝元 阪本 森孝 廣小 直尚 榎直 尚	大阪南 大阪南 大阪東 大阪北 大阪東 大阪南 堺 和歌山		秋中山 圭市 中谷野 庄八 松野 隆一 池田 勝元 阪本 森孝 廣小 直尚 榎直 尚	大阪南 大阪南 大阪東 大阪北 大阪東 大阪南 堺 和歌山			
相談役	吉田 宗皎 西川 進悦 藤村 宗悦 村西 宗悦 林上 青美 杉本 由静 太田 宝成 西藤 宗成	大阪東 大阪北 大阪東 大阪西 大阪南 大阪北 堺 和歌山		吉田 宗皎 西川 進悦 藤村 宗悦 村西 宗悦 林上 青美 杉本 由静 太田 宝成 西藤 宗成	大阪東 大阪北 大阪東 大阪西 大阪南 大阪北 堺 和歌山		井上 昭悦 藤井 宗悦 村田 宗悦 吉田 宗悦 西川 進悦 伊藤 福秀 宮田 謙宝 坂田 成美 太西 日宗	大阪西 大阪東 大阪北 大阪東 大阪西 大阪南 大阪北 堺 和歌山			
ブロック長	青山 総一郎	大阪北	天神	八木 宗新	大阪南	なにわ	八木 宗新	大阪南	なにわ		
副ブロック長	山北 博規 塩谷 康裕 松井 貴裕	大阪西 大阪北 和歌山	なみはや なにわ 紀	岡田 豊子 青山 典一 青井 総一郎	大阪西 大阪西 大阪北	しのめ なみはや 天神	飯井 克典 小林 千恵	大阪西 大阪北	なみはや 天神		
幹事長	東野 佳奈	大阪東	御堂	山北 康博	大阪西	なみはや	山北 康博	大阪西	なみはや		
副幹事長	畑村 成子	大阪北	天神	石宮 惠里	大阪南	なにわ	石宮 惠里	大阪南	なにわ		
ブロック委員	山本 和良 高上 高充 津和 邦明 島田 真輔 松山 大知 山本 加美 吉立 万里 岡田 聡規	大阪東 大阪西 大阪南 大阪南 大阪北 堺 和歌山	御堂 しのめ なみはや なにわ 天神 和泉 仙州 紀	脇本 隆俊 澤村 剛士 藤原 輝平 川谷 庄司 中塩 将香 貴松 代一 松倉 裕一 八井 貴裕	大阪東 大阪東 大阪南 大阪南 大阪北 堺 和歌山	船場 御堂 しのめ 和泉 なにわ 和泉 大仙 紀	脇本 隆俊 藤原 剛士 青山 総一郎 稲葉 久司 中松 倉正 松井 貴裕 千井 裕代	大阪東 大阪西 大阪北 大阪北 堺 和歌山	船場 御堂 しのめ 永神 天和 なにわ 和泉 大仙 紀		
会計	石金 里芳	大阪南	なにわ	中細 弘由	大阪東	御堂	中細 弘由	大阪西	御堂		
監事	神飯 佳亮	大阪東	船場	小初 林千	大阪北	天神	小初 澤茂	大阪東	御堂		
研修委員会				研修委員会				研修委員会			
委員長	松山 由香	和歌山	紀州	東野 佳奈	大阪東	御堂	岡田 豊子	大阪西	しのめ		
副委員長	馬場 圭子	大阪東	船場	長谷川 雅一	大阪西	なみはや	辻野 和子	大阪東	船場		
委員	井上 真悠 三大 悠子 福川 伸郎 岸田 徳恵 西田 宏美 上杉 美子 中野 結花 古田 佳世	大阪南 大阪東 大阪西 大阪西 大阪南 大阪北 大阪北 堺 南	御堂 しのめ なみはや 天神 なにわ 和泉 大仙 紀	寒川 一夫 南十 令子 五十嵐 史子 岡島 智子 小中 貴子 西山 村輝 山口 郁恵	大阪東 大阪西 大阪東 大阪西 大阪南 大阪北 大阪北 堺 南	船場 なみはや 永神 天神 なにわ 和泉 大仙 紀	洲崎 礼子 高井 隆公 尾上 智子 岡田 美子 佐加 美子 高橋 三子 金置 沙江 玉置 芳代	大阪西 大阪西 大阪南 大阪北 大阪北 堺 和歌山	しのめ なみはや 永和 天神 なにわ 和泉 大仙 紀		
広報委員会				広報委員会				広報委員会			
委員長	小杉 仁志	大阪西	なみはや	村瀬 幸子	堺	大仙	砂子 裕岐	和歌山	紀州		
副委員長	若佐 恵和	堺	和泉	太城 優佳	大阪南	なにわ	谷永 嘉庸	大阪南	なにわ		
委員	寒川 一夫 西村 祐理 清水 博次 山本 義知 白土 優次 太城 優子 西尾 静香 福島 都志 小坂 由美 嶋田 美知 岩本 宏子	大阪東 大阪東 大阪西 大阪南 大阪南 大阪北 大阪北 大阪北 堺 堺 和歌山	船場 御堂 しのめ 永和 なにわ 天神 天神 なにわ 大仙 大仙 紀	神田 純正 岩本 京子	大阪東 大阪東 大阪西 大阪南 大阪北 大阪北 堺 和歌山	船場 御堂 しのめ なみはや 天神 天神 和泉 紀	馬場 圭子 西山 武博 水山 麻紀 北山 紀子 砂井 裕ゆ	大阪東 大阪西 大阪南 和歌山 南	船場 なみはや なにわ 大仙 紀		
交流委員会				国際交流特別委員会							
委員長	長谷川 雅一	大阪西	しのめ	松山 大祐	大阪北	天神					
副委員長	平理 恵子	大阪東	御堂								
委員	西田 光佐 大見 弘美 安島 英之 寺島 千恵 井上 香尋 西北 友香 東谷 美恵 井本 歩か	大阪東 大阪西 大阪南 大阪北 大阪北 堺 和歌山	船場 なみはや 永和 天神 なにわ 和泉 大仙 紀	馬場 圭子 西山 武博 水山 麻紀 北山 紀子 砂井 裕ゆ	大阪東 大阪西 大阪南 和歌山 南	船場 なみはや なにわ 大仙 紀					

平成21年(2009)～平成24年(2012) 行事年表

	月 日	宗家・総本部主催	ブロック主催	会 場
平成21年度	1月31日(土)		新旧ブロック協議会 第1回ブロック連絡会会議	グランキューブ大阪
	8月8日(土)		第2回ブロック連絡会会議	ハートンホテル南船場
	8月8日(土) ・9日(土)		近畿第二ブロック研修会 ～藹々 道!学!実!～	ハートンホテル南船場
	12月		近畿第二ブロックホームページ開設 近畿第二ブロック12青年部・大阪四支部連合会 機関誌「同風」発行	
平成22年度	2月11日(祝)		ブロック協議会 第1回ブロック連絡会会議	大阪中央区民センター
	3月20日(土) ・21日(日)	青年部60周年記念・第15回全国大会 未来へに約束・今、私たちにできること		京都国際会議場 グランドプリンスホテル京都
	8月15日(日) ～20日(金)		青年部設立60周年記念事業 海外青年奉仕隊事業「豪州ミッション」	オーストラリア ゴールドコースト・ブリスベン
	11月13日(土)		第2回ブロック連絡会会議 次期役員予定者研修会 海外青年奉仕隊事業「豪州ミッション」 報告茶会	TKP大阪梅田ビジネスセンター
	12月		近畿第二ブロック12青年部・大阪四支部連合会 機関誌「同風」発行	
平成23年度	2月11日(祝)		新旧ブロック協議会 第1回ブロック連絡会会議	太閤園
	3月12日(金)	第50回近畿地区大会		和歌山県民文化会館 ホテルアバローム紀の国
	6月25日(土) ・26日(日)		東日本大震災チャリティー茶会 ～とどけ! 西から東へ祈りの風を～ 社団法人茶道裏千家淡交会近畿第二地区 社団法人茶道裏千家淡交会近畿第二地区学校茶道連絡協議会 社団法人茶道裏千家淡交会青年部近畿第二ブロック 共催	生國魂神社 玉秀庵・参集殿
	10月1日(土)		第2回ブロック連絡会会議	ハートンホテル南船場
	10月1日(土) ・2日(日)		近畿第二ブロック研修会 出会い「一期一会」	ハートンホテル南船場
	12月		近畿第二ブロック12青年部・大阪四支部連合会 機関誌「同風」発行	
	2月11日(祝)		ブロック協議会 第1回ブロック連絡会会議	太閤園
平成24年度	4月28日(土) ・29日(日)		東日本大震災チャリティー茶会 ～とどけ! 西から東へ祈りの風を～ 社団法人茶道裏千家淡交会近畿第二地区 社団法人茶道裏千家淡交会近畿第二地区学校茶道連絡協議会 社団法人茶道裏千家淡交会青年部近畿第二ブロック 共催	生國魂神社 玉秀庵・参集殿
	6月2日(土) ・3日(日)		会員交流事業 「絆」～国産みの地に集い・繋ぐ 一期一会～	ウエスティンホテル淡路・他
	6月23日(土)	総本部主催 近畿第二地区説明会		ハートンホール日生御堂筋ビル
	7月21日(土) ～23日(月)	第4回サマーコンファレンス		東京ドームホテル 裏千家東京道場
	9月19日(水)		第2回ブロック連絡会会議	アンビジョン
	11月10日(土)		第3回ブロック連絡会会議 次期役員予定者研修会	大阪産業創造館 大阪産業創造館
	12月		近畿第二ブロック12青年部・大阪四支部連合会 機関誌「同風」発行	



平成22年 海外青年奉仕隊事業「豪州ミッション」

平成25年

茶道手帳

40

おかげさまで

好評発売中!

定価800円(税込)

送料(1～2部)=210円 ※3冊以上のご購入で送料サービス

会記欄もある
 附録ページが
 好評です!

淡交社 〒603-8588 京都市北区堀川通鞍馬口上ル
 TEL075(432)5151 FAX075(432)5152
<http://www.tankosha.co.jp> <http://www.rakuten.co.jp/tankosha>



題字は鵬雲斎大宗匠筆
 発行所
 (社) 茶道裏千家淡交会
 大阪四支部青年部連合会
 発行人
 会長 中谷 庄司朗

ご挨拶

大阪四支部青年部連合会
 会長 中谷 庄司朗



おかげさまで、

連合会会長の任期を無事全うさせていただきました。これも各支部幹事長様はじめ、親先生の皆

ご挨拶

大阪四支部青年部連合会
 新会長 熊田 昭夫



このたび大阪四支部青年部連合会の会長を拝命いたしました熊田昭夫です。本年度中谷会長の後任として、微力ながら淡交会大阪四支部連合の皆様のご期待に添い得ますよう全力を尽

様、会員各位のご支援の賜物と心より感謝申し上げます。次第です。

出向者の皆様のご尽力により、教養講座は幅広く充実した内容のプログラムで大変ご好評をいただきましたことができました。スタッフの皆さんにあらためて深く感謝申し上げます。

新体制がスタートとする平成二十五年度は、大阪四支部青年部並びに連合会設立五十周年の節目の年でも

くし、青年部の発展に努力いたす所存でございます。来年度は大阪四支部連合会の五十周年という節目の年を迎えます。各青年部も八青年部から四青年部に各統合され、「茶道教養講座」の更なる充実と共に、五十年に相応しい年となりますよう、青年部一丸となってお手伝いさせていただきます。何卒ご高承のうえ今後とも前任者同様倍旧のご指導ご鞭撻を賜りますようよろしくお願い申し上げます。



あります。熊田新会長率いる連合会の絆のうえに、大阪四支部青年部がますます発展していくことを祈念して退任にあたってのご挨拶とさせていただきます。



今年度最初の講座は瓢亭当主の高橋英一先生に「京の食文化と懐石—私のこだわり—」についてご講義頂きました。スライドを見ながらの、お茶事の懐石の説明はとても分かりやすく、途中出汁のとりかたや先生ならではの食材の美味しい食べ方を教えて頂きました。便利な世の中でも普段からの食事の大切さを実感しました。

京の食文化と懐石
 —私のこだわり—
 瓢亭当主 高橋 英一先生
 二月二十二日

茶と禅
 今日庵業跡
 富士田 宗啓 先生
 六月十三日



毎年一回ある業跡先生のご講演は、富士田先生のお話でした。宋より茶を伝えた栄西についての今の新しい学説を分かりやすく教えて下さいました。

教養委員会			平成 25~26 年度 大阪四支部青年部連合会役員名簿		
役職	氏名	青年部名	役職	氏名	青年部名
委員長	藪田 昌子	西	顧問	秋山 圭市	
副委員長	宮崎 悦郎	東	"	中谷 庄八	
"	皆川 美穂	西	"	盛 康有	
"	永島 史子	南	"	松野 隆一	
"	中野 暁子	北	"	池田 周弘	
委員	稲垣佳津子	東	"	田所 伸浩	
"	田中 由起	"	"	嶋村 裕吏	
"	西浦 友紀	"	"	藤原 輝之	
"	林 未和子	"	"	澤村 剛士	
"	伊藤 薫	西	相談役	中谷庄司朗	(東支部)
"	内田 明子	"	"	藤井 宗悦	(西支部)
"	三島絵梨子	"	"	村上 宗美	(南支部)
"	安井恵美子	"	"	林 宗由	(北支部)
"	鐘ヶ江寿子	南	会長	熊田 昭夫	東
"	岸田 知佳	"	副会長	神藤 佳浩	東
"	砂田 真弓	"	"	山北 康博	西
"	吉田 裕子	"	"	津和 邦明	南
"	大澤 綾美	北	"	松山 大祐	北
"	片桐 秀樹	"	常任理事	長谷川幸則	東
"	東野 結花	"	"	嶋津 裕介	西
"	福上早世子	"	"	臼井 將勝	南
			"	高井 久弥	北
			監事	西川まゆみ	(東支部)
			"	神谷真理子	北
			事務局	日高 泰恵	北

HARMONY & SINCERITY
 SINCE 1902
中谷運輸株式会社
 大阪市港区海岸通1-5-22 〒552-0022
 Tel.06-6572-5021(代) Fax.06-6574-1023
 http://www.nakatani-grp.com

茶道具商
西田龍善堂
 〒542-0085
 大阪市中央区心斎橋筋2-2-22
 TEL 06 (6211) 3210



晴天に恵まれ、吉永清志先生の解説のもと、福寿園CHA研究センターにて特別展覧が行われました。スライドを用いてのご講義の後、お茶の製造工程や世界のお茶の楽しみ方の様子を拝見し、お菓子とともに三種類の珍しいお茶の試飲をさせて頂きました。また実際の茶摘みはとても楽しい

福寿園特別展観
五月十三日

体験でした。中には摘んだ茶葉を自宅で煎って緑茶にしたり、天ぷらやおひたし等に調理し、楽しまれた会員もいらっしやいました。



2013年度(平成25年)茶道教養講座予定表

回	月日	演題	講師
448	2月	茶室の移り変わり	裏千家学園講師 谷端昭夫先生
449	3月	茶人の在り方	宝塚造形芸術大学大学院教授 倉澤行洋先生
450	4月	和歌と季節のうつりかわり	財団法人 冷泉家時雨亭文庫常務理事 冷泉貴実子先生
451	5月	茶懐石のあれこれ	瓢亭当主 高橋英一先生
452	6月	特別展観	有職菓子御調進所「老松」主人 太田達先生
453	7月	未定	今日庵 業躰先生
454	9月	京菓子のこだわり	末富店主 山口富藏先生
455	10月	茶室のこだわり	京都工芸繊維大学名誉教授 中村昌生先生
456	11月	源氏物語からみる人間の心理	園田学園女子大学教授 福嶋昭治先生

(註) 第452回 特別展観は別途料金が必要となります。

要項

日時 毎回講師の都合により決定し、午後7時より8時30分までとする。
会場 大阪市内の公共施設
会費 年会費 大阪四支部青年部正会員 4,000円 一般会員 6,000円
臨時聴講(1回につき)青年部正会員 1,000円 一般会員 2,000円

大阪西支部副支部長 藤原輝之
梅雨も明け朝から真夏の太陽が照りつけるなか、今年の天神祭献茶を西支部が主管となりご奉仕させていただきますました。
日が沈み周りが暗くなり始めたころより、大阪西支部青年部の柳谷様により献茶式が始まりました。御鳳輦船に献茶船が寄り添い無事に献納されました。
その後は皆様と楽しく天神祭りを楽しみました。お弁当やビールもいただき花火も打ち上げられた頃に林先生が「この船は「淡交会」だから「炭坑節」を踊るわ」と炭坑節を踊られた時は最高に盛り上がりました。
来賓の先生方、それと担当青年部の皆様には、前日までの準備と当日の運営お疲れ様でした。心より感謝申し上げます。

天神祭お献茶船
七月二十五日
担当 大阪西支部青年部連絡会



お茶十菱
茶道具

<http://www.rakuten.co.jp/jubishi/>

お茶会のことなんでも御相談下さい
大阪市北区西天満2丁目10の1
TEL 06-6363-2119
FAX 06-6365-9808

五三三
大阪中津末町西 五三三
TEL 〇六 六七六 四二二三

鵬雲斎宗匠御好
濃茶 吉祥の昔
薄茶 松吟の白

茶舗 吉川天宸洞

引き継ごう！船場の伝統を 伝えていこう！ お茶ができる幸せを



題字は鵬雲斎大宗匠筆

発行所

淡交会 大阪東支部
船場青年部

寝屋川市萱島本町 14-22
西川 まゆみ 方

ご挨拶
部長 神藤 佳浩



本年度、船場青年部の部長を務めさせて頂きました神藤佳浩です。ここまで、多くの皆さんのお力添えをいただいていたので、多くの方々に感謝申し上げます。本心より御礼申し上げます。

さて、本年度は「引き継ごう！船場の伝統を伝える幸せを」をテーマに活動して参りました。メンバーの皆様が、一生懸命がんばって様々な成果を達成できたことは、部長として望外の幸であります。



ます。これからも「お茶を愉しむ気持ち」と「他人を思いやり理解し合う敬の心」を大切に活動していきます。

また二十年の歴史を持つ船場青年部の最後の一年として、今までのすべての「船場のかわら版」を整理し、後世に引き継ぐべくデータ化を実施しました。船場青年部に関わってくださったすべての方に感謝申し上げます。最後になりましたが、平素よりお世話になっております、親先生はじめ諸先輩方に対して深く感謝申し上げますとともに、今後とも青年部活動へのご指導ご鞭撻をいただきますよう、お願い申し上げます。本年度の御礼とさせていただきます。

温故知新

神藤佳浩

新春茶会

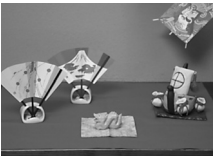
二月二十六日
生國魂神社



新春茶会は、「お世話になっている親先生とOBの皆様をお招きし、青年部の今年度初めての茶会を新春の趣向で楽しんでいただく」とともに、「日ごろの感謝の気持ちを伝える」の目的で開催されました。

会員は、それぞれに初体験するお席や半東及び役割担当に緊張感や不安もありましたが、皆が助け合って協力をしあうことで達成感のある茶会でした。

このように無事に開催できたのは、日ごろの親先生や諸先輩方のご支援の賜物だと思いき感謝の気持ちです。



水無瀬神宮献茶式

四月五日
水無瀬神宮



水無瀬神宮献茶式にて野点での薄茶席(副席)を船場・御堂青年部の合同で担当をさせて頂きました。

この日の近畿地方は台風並みの「春の嵐」が過ぎ去り爽やかな晴天に恵まれたりました。

夏季研修

六月三十日
山田松香木堂



「日ごろより慣れ親しむ茶道具であるお香を実際に作成することで、香の作り方を学ぶ」を目的に、事業委員会の担当で山田松香木堂にて煉香作り体験を実施いたしました。

香原料の説明のあと香木の香りを嗅いで、好みで原料を調合して自分だけのオリジナル煉香を作成。

今回は自作の煉香を持ち帰り日本の香りや歴史を学ぶ良い機会になりました。



ものの、花冷えのする朝となりましたが、お客様に衣服を楽しんでいただけるようにと皆が心を一つにして臨むことが出来ました。

その上に、坐忘齋お家元様には副席にも御来席を賜わり青年部に励ましのお言葉をいただき、私たちに与りました素晴らしい経験になりました。

新年例会

一月二十一日
卯乃家

「創業ダイニング 卯乃家」で行われ、青年部会員十七名、先輩の方々十八名の参加がありました。

『船場の絆』をテーマとして卒業生と会員が交流して絆を深めようと、総務委員会が企画を担当しました。自己紹介タイムでは先輩方と思い出話が尽きず楽しいひとときで、「今年もがんばって」と背中を押していただきました。後半のビンゴゲーム大会では皆さんが持ち寄った景品で大いに盛り上がりました。



相生茶会

八月二十六日
大阪美術倶楽部

両青年部の最後のお茶会とあって皆がお互いにフォローをしあい、思い出深いお茶会になりました。

会員の中には青年部活動と仕事や家庭と大変だが仲間がいるから頑張れるという言葉が聞きました。「お客様に喜んでいただきたい。楽しんでもらいたい」という気持ちは皆、同じだったような気がします。



また、登録会員の皆さま

や親先生方、先輩方の協力のもと無事に終了できたことに深く感謝申し上げます。



夏季例会

六月三十日
熊魚庵 たん熊北店

夏季例会は新入会員が三名、全体では二十名の参加がありました。

新しい風を新入会員が運んでいた以上に、会員が何より活気を持って参加できたことはすばらしいことだと思えました。さあ、下半期のスタートです。



ふれあい茶会

十月二十一日
天満橋 大乃や

青年部新体制に伴い、船場青年部といたしました最後の茶会となる「ふれあい茶会」を天満橋「大乃や」にて開催いたしました。

平成二十四年度は船場青年部二十周年という節目にあたり、卒会員の皆さまと共に出席をもたせていただきました。

伝統ある船場青年部の名称がなくなるのは寂しく名残り惜しいのですが来年度も引き続きお茶ができる幸せを、皆さまに伝えていこうという気持ちになりました。支えていただいた親先生方や卒会員の皆さまに感謝申し上げます。



「卒業おめでとうございます。」

総括幹事

西川まゆみさん

今まで色々とお世話になり、ありがとうございます。心から感謝を申し上げます。

船場青年部一同



窓・ドア・防犯・防音・建築のことなら!

阪南産業株式会社
http://www.han-nan.co.jp

代表取締役社長 神藤 佳浩
Yoshihiro Shinto

本社 〒596-0801 大阪府岸和田市箕土路町 2-12-40
TEL 072-441-8666 (代表) FAX 072-441-8667



題字は鵬雲斎大宗匠筆

発行所

淡交会 大阪東支部
御堂青年部

姫路市八代宮前町 9-14
宅間 千加代 方

ご挨拶

部長 山本和良



精進した者だけが得られる内から滲み出る美しさだと言っています。「まことの花」には、皆を引き付ける魅力があると思います。私はこの御堂を「まことの花」の花園にすべく力を注いで参りました。二十年の月日を経て、今、御堂の花園は色とりどりの花で満開となっています。

よく御堂青年部は保守的であるという言葉を目にしました。流石だなあと誇りに思う瞬間でした。「保守本流を歩む」これは出来さうで出来ない事です。青年部規約の目的欄に、茶道を通しての人格の陶冶と書かれています。発足以来二十一年の間、この目的に対して忠実に御指導頂いた親先生や諸先輩方に敬意を払います。それは御堂青年部のDNAとしてメンバーの中に脈々と受け継がれています。部長に就任させて頂き「花開蝶自来」をテーマとして掲げて参りました。世阿弥は「風姿花伝」で「まことの花」というのは、求めて

最後に、御堂青年部在籍中にお世話になりました親先生はじめ諸先輩方、そしてメンバーの皆様、お一人一人に心より感謝申し上げます。



交野支援学校訪問

於 交野支援学校四條畷校
二月五日(日)

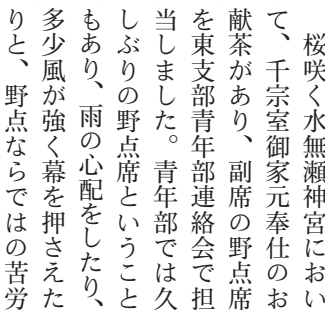


新春茶会

二月二十六日(日)
於 生國魂神社玉秀庵

本年度は船場青年部が主幹で毎年恒例の行事であります「新春茶会」を生國魂神社内玉秀庵にて執り行いました。

日頃からお世話になっていきます親支部の先生方、OBの皆様方へ感謝の気持ち



水無瀬神宮お献茶式

四月五日(木)
於 水無瀬神宮

を込めましておもてなしをさせて頂きました。私は薄茶席の担当でしたが、昨年は大きな震災や豪雨による水害などの不幸な出来事が有りましたので、床には今年が良い年になりますように「福」(鵬雲斎大宗匠筆)を掛けさせて頂き、干菓子には干支の龍と雲をご用意致しました。雲に上る龍のように益々の発展と活気溢れる青年部になれるように願いを込め、これからも精進して参りたいと思っております。ありがとうございました。(宮崎 悦郎)

桜咲く水無瀬神宮において、千宗室御家元奉仕のお献茶があり、副席の野点席を東支部青年部連絡会で担当しました。青年部では久しぶりの野点席ということもあり、雨の心配をしたり、多少風が強くなる幕を押さえたりと、野点ならではの苦労

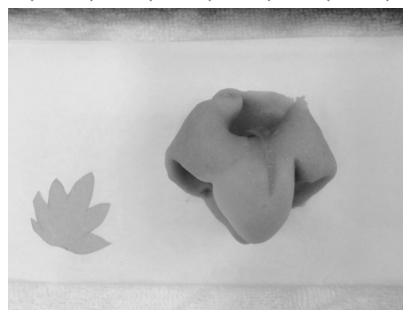
老人ホーム

五月二十七日(日)
於 生野瑞光苑

梅雨の晴れ間に恵まれた五月の終わり、今年も特別養護老人ホーム「瑞光苑」を訪問しました。

今年の茶会のテーマは「みどり」

お懐紙には折り紙で作った青紅葉を貼り、会員それぞれが持ち寄った季節の花々



をロビーに飾り、畳を敷いた床の上で、千歳盆にて一服をおもてなしました。「毎年楽しみにしています」と苑の方が声をかけて下さり、手作り感満載のお茶席で、温かな交流が実感でき、地域の方々と一碗を通じて触れあう大切さを学べました。(鈴木 雅楚)

「交趾を知る」

六月二十四日(日)
於 中村翠嵐工房

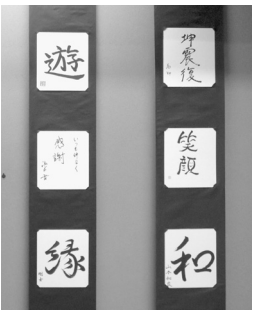
まず交趾焼について、非常に詳しくご講義をいただきました。お茶をいただきます。いよいよ絵付け体験。予想以上に難しく、先生方にご指導いただき完成させることができました。交趾焼は、大変色鮮やかで美しかったです。出来上がった蓋置を使い、いつかお茶会ができればと思います。貴重な一日をありがとうございます。
(西村 杏理)



相生茶会

八月二十六日(日)
於 大阪美術倶楽部

八月二十六日(日) 大阪美術倶楽部にて大阪東支部青年部連絡会として行う最後の合同茶会「相生茶会」を開催いたしました。来年度から青年部が新体制に移行するにあたり、「相生」(船場・御堂)から先も共に生育していただけるよう発展につながるようにと言う想いを込めての開催でした。残暑厳しい中、お運び頂きましたお客様に楽しんで頂けるよう、各席毎に趣向を凝らしおもてなしさせて頂きました。なかでも薄茶席では、茶会名にちなんだ会員手作り



の棚と、両青年部の歴代部長に書いて頂きました色紙で楽しんで頂きました。また、昨年に引き続き登録会員の親先生方のご協力のおかげで、今年も登録会員の皆様にお手伝い頂き交流の場を持つことができました。最後になりましたが、この茶会に込めた想いを来年に繋ぎ、今後も青年茶人として精進してまいりたいと思います。合掌
(東野 佳奈)

二十周年記念の集い

十月二十八日(日)
於 懐石 北瑞苑

御堂青年部は発足して今年で二十年となりました。来年からは大阪東青年部となるため、御堂青年部の歴史が閉じられることとなり、親先生を始め、諸先輩方と今までの歩みを振り返り、歴史を再確認する事を目的として、記念の集いを開催し、また記念品、記念誌も作成いたしました。記念誌作りは、二十年の行事を新聞や総会冊子から紐解き、年表を作ることから始まりました。資料が欠けており、あやふやになっている所は先輩方にお聞き

御堂青年部 20年間ありがとう!



したり、また先輩方が大切に保管されて来た写真が膨大で、記念誌に載せる写真を選ぶのも、かなり大変な作業でした。当日お配りした記念誌をご覧になった先輩方が、いろんな思い出を語って下さり、現役会員と楽しい交流が出来ました。また、親先生には今まで誰も聞いたことがない、発足当時の貴重な歴史を語って下さり、今ある御堂青年部は長い歴史を積み重ねて出来た物だと再確認させて頂きました。お忙しい中、ご臨席賜りました親先生、諸先輩方に感謝いたします。
(中島 弘恵)

一点一点にこころを込めて。
Thank you for Cleaning
フランス屋
<http://www.franceya.co.jp/>

創業266年
代表取締役社長
熊田昭夫
Human Ceremony.
株式会社 阿波弥
AWAYA.CO.,LTD.
本社
〒550-0013
大阪市西区新町1-13-15
TEL.06-6531-0042(大代表)
FAX.06-6533-0442
<http://www.awaya-ceremony.jp>
E-mail:info@awaya-ceremony.jp

ショット・サンド・ビーズプラスト加工のご用命は
SHOWA BLAST
昭和プラスト工業株式会社
風雨にさらされ古くなった門扉やサッシを、新品同様に再生させませんか?
詳しくはHPを <http://www.showablast.com>
〒547-0002 大阪市平野区加美東2-3-30
TEL 06-6792-5816
FAX 06-6794-9221
プラスト加工とは?
金属製品に粉体状の研削材を投射し、表面の美装や塗装の下地処理(塗装の耐久力向上)やピーニング(金属耐食性向上)を目的に、航空分野から建築分野まで幅広く利用されています。
大阪東支部 御堂青年部 山本和良



題字は鵬雲斎大宗匠筆

発行所

淡交会 大阪西支部
しのめ青年部

大阪市阿倍野区北畠3-11-34
高橋 康高 方

ご挨拶

部長 高橋 康高



おかげさまで、しのめ青年部の部長を何とか無事に務めさせていただきました。

先輩方が創られたしのめの伝統をさらに進化させるべく、会員の皆さんと共に、迷走しながらも全力疾走してまいりました。振り返りますとたった二年間にも満たない期間ですら、皆さんの皆さんの努力によって支えられていることを再確認する毎日でした。

私はしのめ青年部の皆さんが、「お茶を通じて社会が少しでも良くなる」ことを目的として、その活動で接する多くの人々に「喜んでいただくことの喜び」すなわち貢献することの喜びを体感し、日々の生活に

役だててほしいと思っております。

青年部は来期から、新たな体制として進化統合し、「他人を思いやり感謝する心」を胸に、一歩、また一歩と歩みを進めてまいります。

最後になりましたが、鵬雲斎大宗匠様、お家元様、ご宗家の皆様方、総本部、幹事長先生、相談役先生、皆さんの親先生、先輩諸兄のご指導と、温かい励ましのお言葉に対して心から感謝申し上げます、ご挨拶とさせていただきます。



社団法人 茶道裏千家淡交会
大阪西支部 しのめ 青年部 創立20周年記念祝賀会



女性会員担当の薄茶席は、歌花筒に鵬雲斎大宗匠御染筆短冊「和氣生萬福」を掛け、迎春花・天竺花火・姫芙蓉を生けました。お席の設えは勅題の「岸」にちなみ、入口から青年部手作りの江南棚に向かって岸辺のように緋毛氈を敷き、和傘・餅花などを新春らしく



華やかに飾りました。点心席の床には、七福神の御朱印と凧、福助や干支の人形を置き、その福助が凧をあげているように飾りつけました。お酒は今年一年笑って過ごしていただきたい思いで七笑酒造の「豪笑」をお出ししました。各席ともに両青年部が意見を出し合い、趣向を考え、おもてなし致しました。お帰りの際、笑顔で「楽しかったわ」とお声をかけて頂き、今後もお客様に喜んでいただけるよう、新しい事に挑戦し努力していきたいと思いをしました。

大阪西支部 新春・合同茶会 西支部 CHA・チャ・茶

二月十九日 豊国神社

大阪城内豊国神社にて、新春・合同茶会「西支部 CHA・チャ・茶」を開催致しました。男性会員担当の濃茶席では、床に坐忘斎御家元御染筆一行「南山祝長寿」を掛けさせていただき、唐銅六角龍耳付花入に白梅と出雲春宵を生け、席中にて、しのめ青年部部長となみはや青年部副部長より新年のご挨拶をさせていただきました。

おおかわ 法律事務所

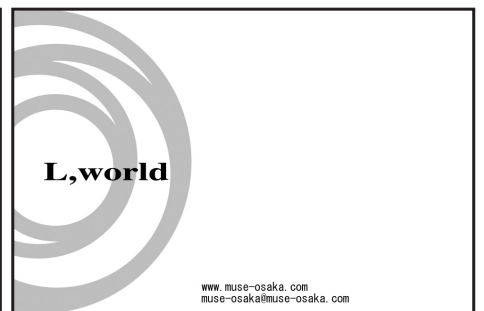
弁護士 大川 伸郎



まこと建設株式会社

社名「まこと」
当社の社名でもあり社是でもある「まこと」とは、新築者である清水藤吉が名付けたものです。漢字で書けば「まこと」は、真、真、信、実... etc. というような文字があります。それらの漢字それぞれの意味をあわせ持たせた、ひらがなの「まこと」こそが、当社の目指す「まこと」です。

〒550-0014 西区北堀江2丁目17-8 TEL 06-6541-4331(代) FAX 06-6541-4330
URL: <http://www.makoto-kensetsu.co.jp> E-mail: info@makoto-kensetsu.co.jp



www.muse-osaka.com
muse-osaka@muse-osaka.com

天神祭献茶船 七月二十五日 大阪天満宮



天神祭の献茶船を今年は大阪西支部青年部が奉仕させていただきました。日中は暑く大変でしたが、

船渡御時には川風が涼しく感じられました。献茶船にて厳粛に点前が行われ、



天満橋をすぎ御鳳輦船に近づき、御茶と菓子高杯が奉納された時は緊張の一瞬でした。その後、ご招待の先生方や他青年部の皆様へ呈茶をさせていただきましたながら、献茶船から観る花火はまた格別でも綺麗でした。このような貴重な体験をさせていただきますありがとうございます。



親子交流会 六月二十四日 叶匠壽庵 寿長生の郷

今年の親子交流会は、日頃お世話になっている親先生やOBの先輩方をお招きして貸切バスで、滋賀県にある「寿長生の郷」へ小旅行を企画致しました。

「寿長生の郷」では、サプライズで叶匠寿庵の芝田清邦会長よりご挨拶を頂き、会長の真摯に自然を愉しみ伝える心をお聞きして「寿長生の郷」の良さを実感致しました。



季節感たっぷりの昼食の後、職人の方の楽しいお話

を交えた指導をうけ和菓子作りを楽しみ、お茶席で一服したあと、丁寧なご案内で散歩道の散策や梅林での梅狩りと一日を満喫いたしました。



梅雨の最中でしたが雨も

降らず、時折太陽の日がさす一日で、都会の喧騒を離れ、自然の中で和気藹々と親睦を深めることができました。



表しているようでした。

青年部活動を通じた皆さんの方とご縁に恵まれたことに感謝し、また来年から大きく成長する青年部への期待に胸が膨らむ一日となりました。

和田先生や来賓の先生方、歴代の青年部部长からのご挨拶を頂戴いたしました。そして久しぶりにお会いする先輩方と歓談したり、ゲームを楽しみとあつという間に楽しい時間が過ぎてしまいました。

祝賀会では両青年部の今までの活動の様子の写真や、和田桐山先生に依頼した今回の参加者全員への記念品のお茶碗の制作の様子を取材したビデオが放映され、



しのめ・なみはや青年部創立二十周年記念祝賀会 九月三十日 リーガロイヤルホテル大阪

しのめ・なみはや両青年部の創立二十周年を記念してリーガロイヤルホテル大阪にて祝賀会を行いました。

台風が近づく足下の悪い日でしたが、親先生やOBの先輩、正会員とで約一六〇名の皆様にお越しいただきました。

開会前には、正会員でもある釜師の角谷和彦氏に、この日のために制作依頼した朝鮮風炉と釜を使用して呈茶をさせていただきました。釜にはしのめ・なみはやを表現した雲と波が地紋に施してあり、来年度以降ひとつになる西支部青年部を表しているようでした。

坂井労務経営事務所

〒577-0055 東大阪市長栄寺 6-11-206

TEL. 06-6783-2168
FAX. 06-6783-2180

Bros.

structure design

〒530-0036 大阪市北区与力町 1-5 与力町パークビル702

EISEI-KOSYA

ビル・マンションの清掃
ネズミ・衛生害虫・ハトの駆除
貯水槽の清掃

株式会社日本衛生公社

540-0004 大阪市中央区玉造2-3-17アルマビル 4F
TEL 06-6945-5866 FAX 06-6945-5867
http://www.eisei-kousy.jp

～実り多き豊かな 明日のために～



題字は鵬雲斎大宗匠筆

発行所

淡交会 大阪西支部
なみはや青年部

堺市南区三原台 3-25-3
佐伯 利津子 方

挨拶

部長 上林 宏充



昨年度から「和衷協同」をテーマに正しく心通わせ、皆で協力し一つの事を行っていく、重要性を感じられる青年部を目指し活動してまいりました。来期から、新しい体制となり、大阪西青年部となります。組織の形は変わりますが、諸先輩方が受け継がれてきた「心」は決して忘れることなく、両青年部の培ってきた経験を生かすことにより、さらに活動の幅も広がっていくと期待しています。

親先生方、諸先輩方におかれましては、多大なるご指導を賜り二年間ではありましたが、無事に部長の任期を務めることができましたこと御礼申し上げます。

新春・合同茶会

二月十九日
豊国神社

今年度は、青年部創立二十周年の年で、例年と異なり、合同茶会としての新春茶会でした。お待ちいただく時間が少し長くなりましたが、



濃茶席では、お客様に慌ただしさを感じさせない様、少しでもスムーズな流れとなるように心を配りました。席中では、まだまだの部分も多く、お客様に充分楽しんでいただくまでには至っておりませんが、席後にお褒めいただき大変うれしく思いました。

来年の新春茶会では、今年以上にお茶会への貢献ができるように、さらなる研鑽を積みみたいと思います。ありがとうございます。

広報委員会 小杉仁志

花見茶会

四月一日
豊国神社 秀石庭



豊国神社「秀石庭」にて、花見茶会を行いました。天気が心配されていましたが、久しぶりに晴れ間が見られ、境内の桜もほんのり色付き、沢山の方々にお越しいただきました。

「秀石庭」は一般公開されておらず、このお庭を拜見できるのも楽しみの一つでした。石舞台にお茶席を作り、お点前は益略点前で行いました。残念ながら途中雨が降り出し、午後からは中止となりました。



今回は初めて薄茶席で半東を経験させていただきました。お道具の説明にとどまらず、席中の様相をいかに説明するか悩みました。

青年部創立二十周年記念と新春という、おめでたいことが重なり、華やかに飾ったことで、お客様に春らしさも感じていただけたようで、薄茶席へ入られた瞬間、感嘆の声が上がりが大変嬉しく思いました。

半東の経験は、お客様との対話という点でも大変勉強になりました。ぜひ次へ繋げたいと思います。

総務委員会 鹿島鈴奈

私は今回初めてお茶会に参加させていただき、何も無い所にお茶席を作り、水屋の用意をする大変さや面白さ、また、おもてなしの心を少しですが経験させていただきました。ありがとうございます。

社会奉仕委員会 橋詰美沙緒

茶道具 やまこう

吹田市豊津町 1 - 30
江坂ビル5F(1Fりそな銀行)
TEL 06-6386-6706
地下鉄御堂筋線 江坂駅5番出口向い
<http://www.yamakou.jp/>



FUTURE INFINITY CORPORATION

株式会社 フューチャーインフィニティ

大阪本社 〒532-0012 大阪市淀川区木川東4丁目16-20
TEL: 06-6390-4501 FAX: 06-6390-4500

東京支社 〒105-0012 東京都港区芝大門1丁目12-16(住友芝大門ビル2号館)
TEL: 03-3578-6901 FAX: 03-3578-6905

わ ちゅう きょう どう 和 衷 協 同



天神祭 献茶船
七月二十五日

本年は大阪西支部が天神祭船渡御において、御鳳輦船へ献茶の担当をさせていただきました。

献茶船ではお招きした先方の方の見守る中、厳肅な雰囲気の中で青年部会員による点前が行われゆっくりと御鳳輦船に近づき、手渡しにて奉納いたしました。大阪を代表する神事に携われたことを大変光栄に思いました。また、行き交う船と大阪締めの手拍子を交わしたりと、賑やかな祭りの様子も堪能でき、思いで深い一日となりました。



京都から吉村楽入先生をお招きして、「楽茶碗削り」をおこないました。

千家十職についてと楽茶碗の特徴と作り方についての講義をうけ、そのあと茶碗削りを体験しました。

今回は、形ができたもののなかから好きな形を選んだ、削りのみの体験でした。とはいっても、なかなか思うように削れずイメージ通りにはいきませんでした。楽しくて夢中になれました。みなさんそれぞれ違った風合いに仕上がっていたと思います。自分だけのオリジナルの茶碗、焼き上がりお待ち遠しいです。

広報委員会 糸野彩奈子

手造りの会 楽茶碗削り
八月五日
弁天町学習センター

台風十七号の接近する悪天候の中、しののめ・なみはや青年部創立二十周年を記念し、来賓・幹事長・親先生・OBの方々をお招きしリーガロイヤルホテルにて祝賀会を開催いたしました。

呈茶席のち、祝賀会では二十年間の活動の軌道をスライド放映し、歴史を感じるとなりました。

先生・OBの皆様には、同窓会のように楽しんでいただけたように感じております。



創立二十周年 記念祝賀会
九月三十日
リーガロイヤルホテル

和服の着付け体験やお茶を自分で点てたり、日本文化に触れ楽しんでいただきました。

今後とも留学生の皆様が日本文化に興味を持っていただけるような会をしていきたいと思っております。

国際交流茶会
十一月十一日
ホテルプリムローズ大阪

在阪の留学生をお迎えしてホテルプリムローズ大阪にて国際交流茶会を開催しました。

総会・卒業茶会
十二月九日
芝苑

十二月九日、相談役の先生方、卒業生の親先生をお迎えし、西天満「芝苑」にて第二十回なみはや青年部総会・卒業茶会・懇親会を行います。

《祝ご卒業》
高林 伸行さん
南 令子さん
おめでとございます。
今後ともご指導のほど宜しくお願い致します。

平成二十四年 年間行事

- 二月十九日 新春合同茶会 西支部CHA・チャ・茶 豊国神社
- 四月一日 花見茶会 豊国神社秀石庭
- 七月二十五日 天神祭 献茶船
- 八月五日 手造りの会 弁天町学習センター
- 九月三十日 創立二十周年 記念祝賀会 リーガロイヤルホテル
- 十一月十一日 国際交流茶会 ホテルプリムローズ大阪
- 十二月九日 総会・卒業茶会 芝苑



社団法人 茶道裏千家淡交会
ののめ なみはや 青年部 創立20周年記念祝賀会
大阪西支部

和服の着付け体験やお茶を自分で点てたり、日本文化に触れ楽しんでいただきました。

今後とも留学生の皆様が日本文化に興味を持っていただけるような会をしていきたいと思っております。

和服の着付け体験やお茶を自分で点てたり、日本文化に触れ楽しんでいただきました。

今後とも留学生の皆様が日本文化に興味を持っていただけるような会をしていきたいと思っております。

平成23年・24年度 年間テーマ

伝えよう 日本のこころを！

広めよう 人の輪を！



ご挨拶
部長
津和 邦明

題字は鵬雲斎大宗匠筆
発行所
淡交会 大阪南支部
永和青年部
奈良県北葛城郡広陵町馬見北7-4-14-13
山本 義次 方

部長を拝命して、二年が経とうとしています。本年は五月二十日に松花堂庭園におきまして、永和・なにわ両青年部として最後の大寄せ茶会「松花茶会」を開催させていただきました。青年部らしく創意工夫し、精一杯のおもてなしをさせていただきました。無事、成功裏に終える事ができましたことを、親先生はじめ皆様方にお礼申し上げます。また今年度は、来期から青年部が合併するにあたり、その準備を一步一步進めて参りました。二十年の歴史による、青年部それぞれの文化の違いを如何に融合させていくのかが、次年度以降の課題となってくるかと思いますが、一致団結して、更に精進して参りたいと思います。

厳しい経済状況の中、目まぐるしい変化が続きますが、親先生をはじめ、諸先輩方のご指導を賜りますようお願い申し上げます。



五月晴れの清々しい空気に包まれた中、八幡市立松花堂庭園・別館美術館にて永和・なにわ合同大寄せ茶会「松花茶会」を行いました。

会場のある八幡市の北では、桂川・宇治川・木津川が合流して淀川になります。永和青年部担当の薄茶席では、お床に鵬雲斎大宗匠筆「水上青々翠」のお軸を掛けさせて頂きました。結果などを、水にちなんだもので取り合せ、広い脇床には、数十本の菖蒲を生けました。前日準備の時には全て蕾だった菖蒲が、当日の朝には七分咲き、お昼には満開とな

永和・なにわ合同 大寄せ茶会「松花茶会」

五月二十日(日) 八幡市立松花堂庭園

り、席入りされましたお客様には、水辺の雰囲気を感じながら楽しんでいただけました事を嬉しく思いました。

また、薄茶席に隣接するロビーに、会員がこれまでの青年部行事で製作した茶碗・茶杓・竹花入・蒔絵や数寄屋袋・古帛紗・楊枝など、手造りの作品を展示しました。



これらのうち、昨半夏の蒔絵体験で製作した丸盆は、薄茶席で菓子器として使用しました。

今回は永和・なにわ青年部として、それぞれ担当を分ける形の茶会としては最後となる節目の茶会で、改



めて親先生、先輩方のご指導に感謝するとともに、これまでの永和青年部の経験をもとに、これからも皆で力を合わせて、よりよい青年部活動を続けて参りたいと、決意を新たにす機会となりました。



- ### 平成二十四年度 行事
- 第一回全体会議と新年会
 - 二月四日(土)
 - すたんど割烹日本
 - 永和・なにわ合同大寄せ茶会「松花茶会」
 - 五月二十日(日)
 - 八幡市立松花堂庭園
 - 第二回全体会議と研修会
 - 九月十六日(日)
 - 細見美術館・六盛
 - 生國魂神社献茶式
 - 十月二十八日(日)
 - 生國魂神社 副席
 - 七五三茶会
 - 十一月三日(土)
 - 生國魂神社
 - 交流茶会
 - 十二月二日(日)
 - 堺市茶室 仲庵
 - 総会
 - 十二月九日(日)
 - 大阪ガーデンパレス

第一回全体会議と新年会

二月四日(土) すたんど割烹日本

本年度の初会合となる第一回全体会議を開催しました。津和部長の挨拶に続き、役員・会員の紹介、今年度の予算案や行事予定などについて話し合いました。会議の後は、OBの皆様にもご出席いただき、新年会を行い、最終年度になる今年の意気込みなどを熱く語って、盛り上がりました。



第二回全体会議と研修会

九月十六日(日) 細見美術館・六盛

まだ残暑の厳しい中、第二回全体会議を催しました。まず、京都の細見美術館にて、ロイヤルコペンハーゲンとビング・オー・グレンダールの磁器を見学しました。オールヌーヴォー期の作品で優しいフォルムと柔らかい色使いがとも素晴らしい磁器の数々で、眼の保養となり、優雅な時間を過ごすことができました。その後、美術館最上階のお茶室「古香庵」にてお呈茶を頂き、さらに場所を「京料理 六盛」へと移し、昼食・全体会議となりました。



た。昼食には「手桶弁当」を頂き、終始 楽しく和やかに談笑し、お料理に舌鼓を打ちました。会議では行事報告や予定の確認、来年度新体制の報告などがありました。

生國魂神社献茶式 副席

十月二十八日(日) 生國魂神社

小雨降る生國魂神社にて献茶式が行われ、永和・なにしわ青年部合同で副席を担当させて頂きました。今回の席は、お床には、坐忘齋家元筆扇面「五雲繞蓬萊」を掛けさせて頂きました。また、お茶杓には、

新青年部でも、心をひとつにして、さらに精進を重ねて参りたいと思えました。



永和の二十年を振り返って

永和青年部が発足した当時、青年部の活動の指針は『3つのS』でした。『3つのS』とは、『スタディ(修練)』『サーブ(奉仕)』『ストライブ(より高いものを求めて努力する)』を示します。これに基づき永和青年部でも沢山の趣向を凝らした行事を企画・開催しました。お茶会や小寄せ、手作り会(スタディ)、生國魂神社放生の神事での呈茶(サーブ)、ストライブとして国際交流茶会では英語での説明をみんなで勉強して臨み、お茶会では点心・お菓子、時にはお棚も一生懸命手作りし、懐石にも挑戦しました。機関誌「永和」も発行しました。

親先生方のご理解のもと、卒業された先輩方、残念ながら退会した方、今も継続している皆が、ひたむきに「永和らしさ」に拘って活動してきた歴史が永和青年部の誇りです。この永和青年部で私も貴重な経験を積み重ねてこられたことを心から感謝しています。 小泉 由華

1945年創業
鋼材・重量物の専門輸送

西日鋼運輸株式会社

本社:大阪市住之江区平林北2-2-16
電話:06-4702-1600
<http://www.nishinikko.co.jp>

東亜産業株式会社総代理店
清水工業株式会社特約店

株式会社 白井商店

〒534-0025 大阪市都島区片町1丁目1番30号
電話 06(6351)2105・3339番
FAX 06(6352)8611

TSUN² INC.

空調設備工事・衛生設備工事

株式会社 TSUN²

ツン ツン

〒599-8248 堺市中区深井畑山町 150-19
TEL (072)281-7720 <http://www.tsun2.co.jp/>

ひとりが主人公



題字は鵬雲斎大宗匠筆

発行所

淡交会 大阪南支部
なにわ青年部

西宮市上甲東園 5-6-7
吉田 裕子 方

ご挨拶

部長
島田真輔



本年度もなにわ青年部は「ひとりひとりが主人公」という年間活動テーマのもと、メンバーの皆さん一人ひとりが主体的かつ能動的に楽しみながら青年部活動に取り組んでおります。そのような中、五月二十日に永和・なにわ青年部合同大寄茶会「松花茶会」を京都八幡市にある松花堂庭園において開催させて頂きました。

今年例年と違い五月の開催となりましたが、お陰様で当日は天候にも恵まれ、五月の爽やかな風と新緑に囲まれた庭園にお客様をお

迎えることが出来ました。少し交通の便が悪く、お席も十席での指定とさせて頂きましたので、お越し頂きましたお客様にはご不便をお掛けしたところもございましたが、青年部メンバーの心を込めたお持てなしと松花堂庭園の素晴らしい景色を楽しんで頂けたのではないかと思います。

また、十一月十八日には「なにわ青年部」としては最後となりますが、会員交流事業として茶会「和・輪・わ」を開催させて頂く予定です。なにわ青年部の歴史を築き上げて来られた先輩方への感謝の気持ちと二〇一三年から新たにスタートします「南青年部」への想いを抱きながら会員交流事業に取り組んでいきます。今後の青年部活動においても、親先生方や先輩方への感謝の気持ちを持ちながら、「なにわのわ」(皆が仲良く)をベースに青年部会員の一人ひとりが主人公であることを感じられるような楽しい青年部活動を目指していきますのでよろしくお願ひします。



単位青年部としては最後の合同大寄せ茶会となる松花茶会を開催致しました。濃茶席の松陰・閑雲軒は松花堂昭乗のもとに一流の文化人達が集ったサロンを復元した茶室で、往時を想像しながら一座建立させて頂き、主菓子にはこれまでの感謝とこれからの躍進を期する思いを込めました。ギャラリーでは部員手作り作品を披露し、菖蒲咲き競う薄茶席や眺めの良い点心席では昭花堂弁当と手製の

合同大寄せ茶会
「松花茶会」
五月二十日
於 松花堂庭園
監事 岩城 佐地子



のお料理でお客様をもてなしました。ご指導賜りまじらずにお越し頂いたお客様、ご協力頂いた永和青年部の皆様へ感謝申し上げます。和やかな雰囲気の中に茶会を終え、新体制となる次年度に希望を持てる一会となりました。



HARMONY & SINCERITY
SINCE 1902

中谷運輸株式会社

大阪府港区海岸通1-5-22 〒552-0022
Tel.06-6572-5021(代) Fax.06-6574-1023
http://www.nakatani-grp.com

nakatani

ハトメ・ボタン・リベット等のファスニング資材の製造

M かねエム工業株式会社
KANE-M 代表取締役専務 島田真輔

〒581-0813
大阪府八尾市泉町1丁目93番地
Tel 072-999-1231 Fax 072-998-7744
E-mail kane-m@alpha.ocn.ne.jp
URL http://www.kanem.com

NK K K Q A
ISO 9001
J A B
O M S , E M S
A C C R E D I T I O N S
R 0 0 6 , R E 0 1 8

なにわのわ ひとひ

暑気払い

八月十九日
於 Gday

うだる暑さが続く中、例年の湿し灰の作成も一段落し、今年も良質の湿し灰が出来たことを満足に思いつつ暑い毎日を過ごしていましたが八月十九日に場所は北新地、『Gday ワイン食堂』にて暑気払いがありました。

今年の青年部事業は生憎と仕事と重なりほとんど参加出来なかった私にとって青年部の皆さんと会うのは久しぶりでしたが皆さんお元気そうな様子で一安心です。



集合時間の直前にもすごい豪雨に見舞われムツとする湿気と熱気に襲われつつもお店につくとエアコンでひんやりと冷やされた心地よい空気にもなされた。続々と青年部の皆さんが集まっていきこぢんまりとしたお店の椅子は全て埋まりました。
料理が運ばれ始めるとワイン食堂といわれるだけあってお酒に合いそうなお馳走が次々と出てきました。
見た目よし、味もよし、青年部員との会話も弾み暑さも忘れるほどに楽しいひと時を味わえました。来年からは一つに戻った南青年部で沢山のひとと交流を深めたいと思います。

青年部卒業の

ご挨拶 新 主以子

本年度をもちまして無事卒業と相成りましたことをこの場をお借りしてお礼申し上げます。

思い起こせば親先生のご熱弁に右も左も分らないまま入会しましたのが新青年部発足の二年目でした。あれから十九年：

そして今その青年部が新体制に変わる最後の年に卒業という節目に当たり感慨深いものがあります。

振り返ればとても長いようであつたという間の青年部生活でした。思いもよらない副委員長、委員長、運営幹事から四支部出向と世間知らずの私にとりまして苦

労の連続でした。最も欠けている統率力・能力のなさにとても情けなく申し訳なく思い出されま

す。そんな私を支えてくれたのが当時の部長さまはじめ委員の皆様でした。

普通では体験出来ない様々な奉仕活動行事や作陶研修：走馬灯のように頭を駆け巡って参ります。

正直、公私ともに悩み辞

めたい！と思ったことも多々ありましたが、今、卒業まで続けられたのはひとえに茶道を通じて出会えた沢山の『仲間』に出会えたからだと思います。

本日に沢山の出会いや永遠の別れも経験致しました。《感謝》の一言に尽きます。大好きな『なにわ青年部』とお別れしなくてはならない寂しさは募りますが歳はごまかせません。

素晴らしい後輩たちに委ね安心して巣立っていきける喜びを噛み締め来期から新『南青年部』として永和・なにわ一致団結して盛り上げていって下さることを期待して、微力ながら支えて

いたらと思っております。本当にお世話になります。

親先生方、他支部の皆様諸先輩方、同輩、後輩の皆様にご心からお礼申し上げます。

ありがとうございます



なにわ随一 和田八

かまぼこの

〒553-0003 大阪市福島区福島5丁目4番21号
TEL.06-6346-7701 FAX.06-6346-7702
フリーダイヤル 0120-888012 [受付時間 A.M.9:00~P.M.5:00]
ホームページアドレス <http://www.wadahachi.co.jp>

KOALA SOAP

オーガニックの国「オーストラリア」から
こだわりの自然派石鹸やバスグッズをお届け！

コアラソープ

検索

<http://www.rakuten.co.jp/organicaustralia/>



題字は鵬雲斎大宗匠筆

発行所

淡交会 大阪北支部
天神青年部

大阪府吹田市穂波町6-5
石井 智子 方

ご挨拶

部長 松山大祐



総本部・親先生・諸先輩方のご支援・ご指導のおかげをもちまして、一期二年つつがなく活動させていただきましたこと、厚く御礼申し上げます。

今期はテーマを「青年部活動は自分を高めるチャンス」とさせていただき、できるだけ会員の皆様に経験したくない担いをお願いしました。戸惑いもあつたと思いますが皆やり遂げてくれました。改めて会員のみなさんに敬意を表します。

僭越ではございますが、引き続き大阪北青年部の部長をさせていただく事とな

会員親睦会

南宗寺参りと茶籠作り

七月一日(日)

『茶籠作りに参加して』

古川 文字
寺島 千尋

初めて乗る阪堺のチンチン電車で揺られ、御陵前駅で降りる頃にはあんなに降っていた雨も止み、皆で南宗寺へ向かいました。

南宗寺では、千家一門の供養塔にお参りをしました。ボランティアの方に急ぎ足で境内を説明してもらい、大仙青年部の方にガイドまでしていただいて、大阪なのにとちょっとした旅行気分でした。

その後、なんと南宗寺老師・田島碩應様が点てたお

茶をいただくことができ、ほっこりした後、老師のお話を聞きました。利休道歌「その道に入らんとする心こそ、我が身ながらの師匠なりけれ」を、僧からみた解釈を教えてください、茶道と禅の深い関係を知ることができました。

そして、利休好みの実相庵を見学。何だか落ち着く素敵な二畳台目でした。

始終、大仙青年部の方がお世話をしていただき、しかも車での送迎付き。申し訳ないぐらいのおもてなしに感激しながら、千利休屋敷跡を見学の後、今回の研修のメインである茶籠作り、小森商店へ向かいました。(古川)



親睦会の行事にて『茶籠づくり』をしました。以前より茶籠を作成してみたいと思っていたのでとても楽しみにしていました。ミシ

夏休み子ども茶道教室

クレオ大阪中央
八月十九日(日)

『夏休み子供茶道教室』

大西 真衣

八月十九日クレオ大阪中央で子供茶道教室が開催されました。今回は初めてお手伝いに参加し、子供たちの班のリーダーを担当させていただきました。

自分の茶笥に印をつけ、ケースにデコレーションする作業や和菓子作りではすばらしいアイデアやセンスでみんな上手に作っていて、楽しく作業している姿が印象的でした。

自分たちで趣向を凝らし一生懸命に作った和菓子をお茶席でいただいたことも子供たちには感慨深い経験だったと思います。

お茶のマナー教室や模擬茶会では、積極的に質問し、理解したことを実践している子供たちの姿や、風炉点前のデモンストレーションを真剣に見つめるまなざしからは、茶道に対する興味や関心、学びたい気持ちが伝わり、この茶道教室の意義や大切さを実感いたしました。

最後に子供たちが書いてくれた作文では、「楽しかった」「よい体験ができたのでまた来年も参加したい」という思いを綴ってくれました。子供たちと楽しく素敵な夏休みの思い出を作ることができたことが、私にも貴重な思い出となりました。

青年部の一員に加えて頂き、貴重な体験を通して、諸先輩方にご指導いただきながらいろいろなことを学べることに感謝しております。これからもさまざまな活動に参加し、たくさんの方を吸収していきたいと思っております。これからもよろしくお願いいたします。

世界初をカタチに。

あらゆる設計から製造まで世界初の提案



株式会社 サンパック

〒564-0063 大阪府吹田市江坂町1-17-14 江坂吉川ビル4F
TEL:(06) 6369 - 5681 FAX:(06) 6369 - 5688
http://www.sunpac.co.jp/

『2012 夏休み子ども
茶道教室を終えて』

西崎 玲子

会場を大阪に移して二年目。今年は男児八名・女児十七名に参加いただきました。予想以上の発想力で綺麗にできた茶筌ケースデコからスタートし、子ども茶会のためのマナー教室、和菓子作り、自作のお菓子をいただき交代で互いをもてなす子ども茶会まで、盛りだくさんの一日となりました。スタッフは皆それぞれに事情を抱えての参加で、本当に当日が迎えられるのかと不安は募りましたが、昨年「教えてくれたら私もできるのに」と年少の子ども達から出た希望をかなえる内容にすべく一丸で協力し、松山部長を筆頭に強力な態勢で支えていただきながら、何とか無事笑顔で終えることができました。「またお茶を点てたい」と早くも来年の予約が入り、



「一碗の心」が伝わったのかな...と感じた次第です。ご協力いただいたすべての方に深い感謝を捧げます。ありがとうございます。

合同茶会

大阪美術倶楽部

三月四日(日)

『はじめまして』

菊池 亜貴

一月に入部させていただきました菊池亜貴と申します。垂谷宗寿先生にお稽古させていただいております。このたび天神、なにわ津合同茶会に参加させていただきました。当日は、濃茶席のお運びをお手伝いし、数々のことを学ばせていただきました。薄茶席でのお手伝いは、何度か経験がありますが、濃茶席は初めてだったので、少し緊張しました。事前の会議や、前日準備にも参加し、お茶会を開くにあたり、大変な苦勞があることを改めて実感しました。緊張しながらも、とても楽しくできました。ことを深く感謝しております。ありがとうございます。

わからないことばかりで、皆様にはご迷惑をおかけすることと思いますが、青年部での活動を楽しみ、お茶の道を歩みたいと思っております。

りますので、今後ともご指導よろしく申し上げます。

『合同茶会に参加して』

大澤 綾美

三月四日の合同茶会に参加させていただきました。青年部に入って、初めてのお茶会参加で、しかもお点前を担当することになり、大きなお茶会で初のお点前だったので、とっても緊張いたしました。普段のお稽古でも何度も何度もお点前の練習をしましたが、最後まで私に出来るかな、とても不安な気持ちのまま当日を迎えました。しかし、今回のテーマは「芽吹き」ということで、お茶碗はすべて赤染で、お花が咲いたような可愛いお菓子、長板総飾りのお点前など、春の始まりを感じさせる華やかな趣向で、お点前やお運びをしながら、だんだんわくわくと楽しい気持ちになりました。今回、前日準備から参加させていただいて、灰や炭の準備を見せて頂いたり、お点前をする機会を頂いたり、普段のお稽古では経験出来ないことをさせていただいて、とても勉強になりました。ありがとうございます。これからもよろしくお願いたします。

わからぬことばかりで、皆様にはご迷惑をおかけすることと思いますが、青年部での活動を楽しみ、お茶の道を歩みたいと思っております。

卒業の辞

『卒業』

畑中 成子

とうとうこの時を迎えることとなりました。様々な思いが駆け巡り、寂しい気持ちでいっぱいです。

北支部、四支部、そしてブロックと、色々な場面で多くのことを学ばせて頂き、たくさんの方の思い出が残りました。その全てが私にとって大切な「宝」となっております。同じ道を学ぶ者として、皆様に出逢えましたこの『えにし』に感謝します。

先生方、諸先輩方に心より御礼申し上げますとともに、新しい青年部のご発展と皆様のご活躍をお祈り申し上げます。本日に、本当にありがとうございます。



『卒業』

井上 竜太

天神青年部に参加させていただいてから十八年！振り返ってみれば「感謝」の気持ちでいっぱいです。

青年部だからこそ体験出来た貴重な経験、また親先生方、先輩方をはじめ、多くの仲間との出会いの機会をいただきました。

広報委員長として新聞作りや、お茶会リーダーとして苦心したこと、成田山献茶式のおり、青年部席の水屋に突然鵬雲齊大宗匠が訪れられて、その存在感とあまりのカッコよさに感動したこと等、色々な思い出が残っております。

今までお世話になりました。ありがとうございます。これからも青年部が盛り上がり、いくことを願っております。



株式会社 天馬工務店

代表取締役 出口 重信

TEL 06-6939-4882 FAX 06-6939-4448



HAGOROMO

株式会社 羽衣組
〒663-8184 西宮市鳴尾町1丁目1番5号
TEL0798-41-8441 FAX0798-41-8515



題字は鵬雲斎大宗匠筆

発行所

淡交会 大阪北支部
なにわ津青年部

生駒市小町 2121-17
小林 智子 方

ご挨拶

部長 塩谷 将規

親先生方をはじめ青年部メンバーの皆さんには、平素よりご厚情やご協力を賜り、ありがたく存じます。

人が人として生きていくための気遣いや感謝の心は、何よりも大切である。この想いを基本に、『人』への思いを大切にしながら、でも青年部らしく時代のエッセンスも少し盛り込み、「来て」「して」「触れて」楽しい、なにわ津青年部』を部長拜命時の目標に掲げ、二期四年を迎える事になりました。

私は、茶道の基本は人と人とのふれあいの心構えとその対応（おもてなし）だと思っています。そのためにはまず身内からと考え、ほぼ毎月のスタッフ会議や全体会議を行ってきました。スタッフの皆さんやメンバーの皆さんには、公私ともにお忙しい中お集まり頂いたことに感謝すると共に、皆

さんとお顔合わせをする機会が増え、改めてふれあう機会の大切さを感じる時間を過ごさせて頂きました。

いよいよ来期より、私たちがなにわ津青年部は同支部の天神青年部さんと合併し、大阪北青年部に移行する事になります。でも、私たちの基本は何も変わりません。

ただ仲間が増えるだけだと私は思っています。二つの青年部が一つになり、より楽しい青年部へと、進化してほしいと願っています。

私事ですが、来期より私は部長職を後任に譲る事とさせて頂く事になりました。皆様には大変お世話になりました。この場をお借りし、二期四年間の皆様のご指導ご鞭撻、さらにはご厚情とご協力に心より感謝を申し上げます、ご挨拶とさせて頂いていただきます。ありがとうございました。



天神・なにわ津
合同茶会

大阪北支部合同茶会が行われ、私は受付案内を担当いたしました。お昼前頃から雲行きが怪しくなり、雨がぱらぱらするあいにくのお天気にもかかわらず、たくさんのおお客様にお越し頂きました。私達は待合のしつらえやお客様の流れ等、何度も会議を重ね当日を迎えました。



お茶会のテーマが「芽吹き」ということで待合のお床には緑の春野菜にたけのこやつくしを飾り、お客様に春を感じ楽しんで頂くようでした。受付案内は最初のお迎えから最後のお見送りまで長い時間、お客様と接する場所だった為、ふれあいが多くお話しさせて

頂く機会も持つことができ有意義な一日でございました。お客様から帰りの際に「楽しかったよ」「おいしかったわ」「いいお席をありがとうございました」等々優しいお言葉をかけていただき嬉しく思いました。私はこのたび初めてご案内係をさせて頂き、お客様が重なった時にはご迷惑をおかけしますが、無事に終わりほっとしております。親先生方、諸先輩方のご指導とご協力のもと無事にお茶会が催されたこと、感謝の気持ちでいっぱいでした。皆様ありがとうございました。



宮本 真穂

朝からの雨が心配されていた合同茶会で、傘をささずに美術倶楽部に向かえたことが私は、まずとても安堵しました。私の担当はお薄席のお点前でした。徒然棚のお点前を、お稽古以外ですることが初めてだった

ので、少し緊張しながら半分楽しみで臨みました。前に細かい打ち合わせをした箇所を注意しながら、2回お点前をさせて頂いていただきましたが、とても楽しんでできました。お茶会では特に、お点前の手順に追われがちですが、お客様に喜んでいただこうという楽しい気分でお点前もすると、お客様にも伝わりお茶席の場を楽しんでいただけるといふことが、今回のお茶会で私は感じました。お越しいただいたお客様に、楽しい一時を過ごしていただくことが一番大切だと思います。今回はお薄席では、お茶席でのお菓子に加え、お土産も全て手作りにしました。手作りは大変でしたが、実際はとても楽しく勉強になりました。お席で最後にお土産を籠にいれて、お出しした時に、お客様から歓声が上がりました。私は、この歓声が今回のお茶会で一番嬉しく感じました。お床も工夫をした甲斐があり、当日お客様に喜んでいただき、とても嬉しかったです。青年部では本当に学ぶことがたくさんあり、楽しく活動をさせて頂いていきます。これからもどうぞ宜しくお願い致します。

笠井 生恵

有限会社 小泉商店

〒662-0051 兵庫県西宮市羽衣町 7-31-1008



塩谷硝子株式会社

〒531-0071 大阪市北区中津 4-4-14

大阪城ケアホーム 奉仕茶会

九月二日、大阪城ケアホームにて、なにわ津青年部大阪城ケアホーム奉仕茶会が行われました。
三月に行われた合同茶会以来、私にとってはこれが二回目のお茶会となりました。

いつものお茶室で行われるお茶会とは雰囲気も異なり、多少リラックスしてのぞめるかと思いましたが、やはりいつもどおり、緊張したまま始まってしまいました。

三つのテーブルにわかれ、それぞれのテーブルで盆略手をさせていただきました。お茶会でお手前をするのは数えるほどで、今回はいつも以上にお客様の視線が熱く感じられ、頭の中が真っ白になりながらお手前をさせていただきました。
はじめはこちらから点てたお茶をお出しするだけでしたが、中には昨年のごことを覚えておられる方もいらっしゃり、「今年は体験はないんですか？」私は今年から参加させていただいている為、詳しくはわかりませんが、昨年はお客様自身にも茶筌をふってお茶を点てていただいたそうで



そのほんのひと時を覚えていらっしやうです。このお茶会は私たちにとってもお客様にとっても意味のある一日であることを、あらためて感じられました。もちろん、今年も「体験」を行いました。

私自身、結局、終始緊張しており、先輩方のように楽しくお客様とお話もできず、正直なところ、申し訳ない気持ちにもなりましたが、これもまた貴重な体験だったと思います。

来年以降もまた行われるのであれば参加したい、そんなお茶会でした。ありがとうございました。

足立 哲也

佳吉大社献茶式

彼岸入り後もまだ蒸し暑さも残る中、坐忘齋御家元

様による佳吉大社献茶式が執り行われ、その副席を天神・なにわ津両青年部が務めさせていただきます。

御家元様には第一席目にご臨席賜り、秋空の色の花入、そこに活けられた佳吉大社創建にもちなむ鷲草など、室礼にまつわる印象をお話し下さりました。半東とのなごやかな会話は点て出しの碗を運ぶ者の耳にも入り、その緊張を解きほぐされるものがありました。

お席が終わった際、青年部一同で御家元様を囲んだ記念写真を撮影して頂きました。またその席の水屋には業跡先生がお越し下さり、ユーモアを交えながら水屋全体の動きへのご助言を賜りました。そのお陰でその後の席もスムーズに運べたと存じます。

一日を通して大勢のお客様においで頂き、初秋をイメージして取り合わせた道具についてお尋ね下さるなど、お茶を介するならではのお話しも出来ました。

親先生方のご協力があってこそ務められたお席ではありましたが、お客様からねぎらいのお言葉を頂戴するなど、今後の励みになる体験を積むことが出来ました。有難うございました。

稲葉 基子

なにわ津茶会

お茶会当日は台風が接近しており、大変な一日になる予感のした朝でした。

来年で天神青年部となにわ津青年部が合併し、なにわ津の名前でお茶会を行うのが最後になる為、なにわ津青年部の卒業生の方と現役会員の合同でお茶会を行う運びとなりました。



お茶会では、濃茶席を卒業生の方が席を持ち、現役会員で受付・案内と薄茶席、点心席を行う事となりました。今回のお茶会で使用させて頂いた四天王寺では、濃茶席を離れのお茶席で行う事となり一度外への案内が必要となりました。当日、私は案内の役割でした。その為特に天候が気になりお茶会が始まった時雨風はまだ無かった為、一日どうか天候が持ち、台風がそれ

ることを願っていました。お茶会が始まるとお客様も台風の影響が出にくい朝に多くの方がいらっしやいました。一席、二席と天候はもっていましたが、徐々に天候が悪くなり、雨が降り始めると風も出てき始め、お昼前には雨風共に強くなり道は川の様になり、お茶室への案内は朝と違う道を通らざるを得なくなりました。天候の悪い中で案内であった為、申し訳ないと思いつながら案内を行っていましたが、「大変だけど忘れられないお茶会になる」と笑顔で多くの方が仰って下さり、大変であればあるほど雨や嵐でもその中楽しむことが出来るお茶会を行うことが出来れば思い出に残るお茶会が出来るという実感がわきました。

雨風の中のお茶会は始めてでしたが、そういった中でしか分からない多くの事が学べたと思います。ありがとうございました。今後もしも指導ご鞭撻よろしくお願ひ致します。

横川 正義



DLC 大日本倉庫株式会社
DAINIPPON LOGISTICS CORPORATION

〒581-0085 大阪府八尾市安中町4丁目8番18号
電話：072-991-1312 FAX：072-994-2417

※お茶専門店「りゅうほうえん」

『京の老舗』

体芳園®

〒610-0255 京都府綴喜郡宇治田原町郷ノ口本町97番地
TEL 0774-88-2038 FAX 0774-88-5165

テーマ・目標

出会い・ふれあい・高めあい

お茶を通して協働し、共感できる仲間を作ろう!!

青泉

題字は鵬雲斎大宗匠筆

発行所

淡交会 堺支部
和泉青年部

門真市三ツ島 102-1-205
山本 知加子 方

ご挨拶

部長 山本知加子

奇しくも和泉青年部最後の部長としてご挨拶申し上げますこととなりました。至らぬ私が任期二年を何とか無事に終えることができずのも、ひとえに皆様のおかげと心より感謝いたしております。

そして今年、日頃お世話になっている和泉青年部ゆかりの方々に感謝の気持ちを入れて開かせていただいたほたる茶会。皆で力を合わせ臨んだこの茶会は、大変意味のあるものとなりました。大切な思い出となりました。お力添えいただいた皆様方に重ねて御礼申し上げます。あとは納会を残すのみ。最後までご協力のほどお願い申し上げます。

また、私は今年卒業となりますが、新青年部もお引き立てのほどよろしくお願ひ申し上げます。まずは、お礼かたがたご挨拶申し上げます。

初総会

二月五日
ソフィア・堺



立春を過ぎたとはいえ、まだまだ寒さが厳しい中、二月五日に堺市教育文化ホール ソフィア・堺で、初総会をしました。

今年から入会の松崎さんを迎えて、初総会では、今年和泉青年部としての最後の年になるということ、心に残るような活動をしようということでした。

昼食後、小間に移動し、桂窯で会員が作った茶碗で濃茶をいただきました。昨年は中寄せに重点をおいて活動をしていましたので、小間での濃茶席は、また違った雰囲気です。また違っていました。

その後、薄茶の小寄せ茶会をしました。今回のテーマ



は、ちょっと早いですが、「バレンタイン」で考えました。寒さ厳しい中、少しでも心温まるようにと想った企画でした。「ハート」はもちろんのこと、幸せを呼ぶ「てんとう虫」や見つけたら幸せになると言われている「クローバー」、神様の使いの「エンジェル」など幸せムード満点の趣向にて行われました。お干菓子は、会員お手製のマカロロンとチョコレート菓子で、本当においしいいただきました。



今年一年も、皆さんと一緒に楽しく活動をしていきたいと思っております。

蒔絵体験

三月四日
表完堂



具嶋 朋代

京都東山にある「表完堂」で蒔絵体験教室に参加させていただきました。最初に講師の方から作業説明を受け、その後図案を決めて各自、棗・丸盆に絵を描いていきました。図案の見本はお借りできたのですが、絵が苦手な私は図案決めて時間がかかってしまいました。

皆さん図案が決まり、絵を描き始めると、自分の作品に集中しておられ、途中雨が降り始めていた事にも気付いていませんでした。全員の作品が完成した時には少し予定時間を過ぎていましたが、皆さんステキな作品に仕上がっていました。

その後、昼食をいただく為、場所を移し「桔梗庵」にて、京のおばんざいと湯



豆腐をいただきました。京野菜を使った煮物・和え物が上品な味付けで美味しかったです。また、私にとって初めての蒸し寿司も頂けて新しい味の発見でした。帰りは雨となりましたが、これもまた風情があり楽しい一日でした。ありがとうございました。

平成二十四年度行事

- 二月五日(日) 初総会 於ソフィア堺
- 三月四日(日) 蒔絵体験 於表完堂
- 六月十日(日) ほたる茶会 於太閤園淀川邸
- 九月二十一日(土) 臨時総会 於ウエズイ
- 十月二十(土、二十一日) 堺まつり 於南宗寺 本源院
- 十一月二十五日(日) 組紐体験と美術鑑賞 於安達組紐館
- 茶道資料館
- 十二月九日(日) 納会 (詳細未定)

ほたる茶会

六月十日
太閤園 淀川邸

橋本 永子

六月十日、大阪の太閤園で和泉青年部としてお客様をお迎えする最後のお茶会である『ほたる茶会』を開かせていただきました。

私はお茶席担当となりお道具の取り合わせなど、はじめから参加させていただき本当に勉強になりました。当日は一席目のお点前もさせていただき本当に緊張致しました。残月というお茶室を使わせていただいたのですが、そのお部屋から見る夜の風景は船の中から水辺を見ている錯覚をおこすぐらい素晴らしいものでした。私は夜のお茶会に参加した事がなかったので本当に貴重な体験をさせていただきました。お客様も本当に楽しそうにしてください。メインであるほたるもご機



嫌よく飛んでくれていても幸せな気分にしてもらえました。

これも親先生である太田先生をはじめたくさんの先生方のお助けがあつての事と感謝しております。本当に貴重な経験をさせていただいてありがとうございます。

文田 七歩



六月十日(日)太閤園にて、先生方や青年部を卒業された先輩方、大仙青年部の方にお越しいただき、ほたる茶会を開催しました。

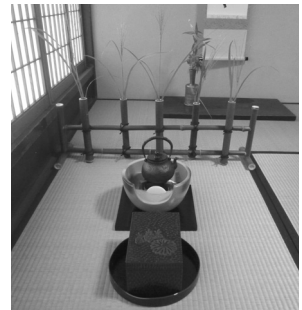
当日は、いいお天気に恵まれ、ほたるを見るのに晴れてよかったです。そんな中、初めて行く太閤園にわくわくしながらかけました。太閤園のお茶席は、とてもすばらしく、お庭もとてもきれいでこんな良い所でお茶席ができて幸せだなと思いました。



私の担当は、受付と案内係でした。受付は、時間が決まっていたので、スムーズにできたと思います。事前には、いろいろお菓子のお礼を皆様にお伝えするのに少しだけ戸惑ったりしてしまいました。受付が終わり案内係になり、私の担当は、青年部を卒業された先輩方でした。皆様お久しぶりだったので、同窓会のようにお話が盛り上がり楽しんでいました。私も楽しんでいましたし、うれしかったです。お帰りになる時には、「とても楽しく、いいお席でした」と言っていたので、うれしかったです。このお言葉は、先輩方だけではなく先生方にもおっしゃっていただき、うれしかったです。

堺まつり

十月二十・二十一日
南宗寺 本願院



小山 智子

十月二十日、南宗寺にて堺まつりの茶会が行われ、私はお点前、お運び、受付をさせていただきました。当日は爽やかな秋晴れで絶好の茶会日和となり、たくさんの方にお越しいただきました。

今回は私の苦手な茶箱のお点前だったので、自分の順番が近づくと緊張で手に汗びっしょり。失敗しないか不安でしたがなんとか自分なりにちゃんとお点前ができて嬉しかったです。

受付ではお客様から「いつも青年部席は色々な趣向があり楽しみにしています」とお声をかけてくださりとても嬉しく皆様に楽しんで

いただけのお茶会にしなくてはと思いましたが、またお帰りの際には「とても楽しかったです、ありがとうございます」とのお言葉をいただきました。親先生や諸先輩方のおかげで無事に終えることができました。ありがとうございます。

祝ご卒業

山本知加子 さん

ご卒業おめでとうございます。先輩から学んだことを忘れず精進致します。どうかこれからも温かい目で見守ってください。長い間ありがとうございました。

名代 **深清範**

あなごし

堺山島町

電話 堺 (241) 4593 番

夢と感動を！

りっしかん **立志館ゼミナル**

立志館ゼミナルは、南大阪を中心に小中学部26校舎、中学入試部2校舎、高校部1校舎を展開している地域密着型の学習塾です。

小中学部 対象：小3～中3	深井校 光明池校 三國丘校 桐校 南花台校 城山台校 宮山台校	高石校 狭山校 泉大津校 上野芝校 初芝校 浜寺校 帝塚山校	泉北校 TEL 072-292-6363	下松校 岸和田校 貝塚校 春木校 金剛東校 北野田校 新金岡校
中学入試部 対象：小2～小6	三國丘本部校 桐本部校 TEL 072-292-0505			三國丘本部校 TEL 072-240-8855
高校部 対象：高1～高3				

立志館ゼミナル

青泉

題字は鵬雲斎大宗匠筆

発行所

淡交会 堺支部
大仙青年部

泉南郡田尻町嘉祥寺 853
山本 繁美 方

ご挨拶

部長
山本 繁美



いよいよ、新青年部の始まりです。

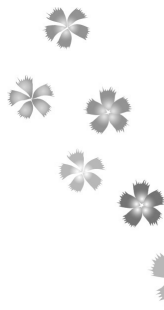
ちょうど私が部長を拝命した二年前、青年部改革のお話を伺いました。それから、新青年部へ向けてのタイムテーブルの日々でした。

近頃、身近な人達の間で少し大変な事が起こってしまいました。でもそんな時、それぞれの人達が、自身が大変な状況だというのに、人のことを心配しているのです。なんて素晴らしい人達だと思いました。相手を思いやる心が、その相手の心を救い、またそれが自身の心に戻ってくるのだと感じました。

新しい青年部作りにもこの心が不可欠なんだと思いました。これからまだまだ困難なことがあるでしょうが、互いを思いやる心を持って事にあたれば、難しいことも乗り越えてゆけるのではないかと思います。

そんな新青年部を目前にして卒業することは、とても残念なことです。大仙青年部に入って十年。たくさん経験と思い出を重ね、たくさん心を動かされました。それが青年部の大きな意義であったと思います。どうか皆さんもいろんな経験を、大いに心を動かして下さい。

平成二十五年より、堺青年部がより良き青年部に生まれ変わることを心より願っています。ほんとうにありがとうございます。



初総会

二月五日(日)
南游菴



大仙茶会

三月四日(日)
伸庵



大仙青年部さようなら記念「大仙茶会」の副席に参加させて頂きました。千歳盆を使ったお点前、菱餅のような三色のお干菓子、

今年入会し初めての青年部の行事に参加させて頂きました。知らない方ばかりだったので、行くまでは緊張しましたが、皆さん私に親しく接して下さいました。とても落ち着くことが出来ました。幸運にもお点前をさせて頂きました。青年部の方が作られたお茶碗など初めて見るお道具で、お点前をする事が出来てとても良い経験になりました。先生に立礼の指導をして頂いていたので、本番ではリラックスして出来ました。や

伊達衿を使って作った結果、百人一首の歌を散りばめた床・・・大仙青年部らしい楽しいひな祭りの趣向でした。

その中で私は、三人官女をイメージした巫女装束を初めて着用してお運びをさせて頂きました。入った瞬間に「わぁっ」という歓声をいただき、恥ずかしかったですが、足を運んで下さった親先生方、先輩方が笑顔になって下さり、とても嬉しく思いました。大仙青年部に入ったばかりですが、長い歴史を感じ、沢山の素敵な方々とお会いすることが出来て、とてもいい経験をさせて頂きました。 渡辺 双葉

はやお茶の点てかたなどまだまだ練習をしなければならぬなあと思いましたが、他の方のお点前を見て、勉強になることがたくさんありました。これからこのような行事が増えることがとても嬉しいです。お点前をする時、季節ごとのお道具を拝見すること、おいしいお菓子を食べることが好きなので、これからも青年部の行事に参加し経験を積んでいきたいと思っています。どうぞよろしくお願致します。 吉村 杏



平成二十四年度 年間行事

- 二月五日(日) 初総会 南游菴
- 三月四日(日) 大仙茶会 伸庵
- 三月二十五日(日) 交流行事 城北青年部堺ツアー 南宗寺・南游菴
- 四月十五日(日) 蒔絵体験 表完堂
- 五月十三日(日) 交流行事 善琴青年部堺ツアー 南宗寺
- 五月二十日(日) 小奇茶会 南游菴
- 七月一日(日) 交流行事 天神青年部堺ツアー 南宗寺・南游菴
- 八月十九日(日) サマコン報告茶会 南游菴
- 十月二十・二十一日(土・日) 堺まつり 利休のふるさと堺大茶会 南宗寺
- 十二月二日(日) 納会 南游菴



小寄茶会

五月二十日(日)
南游菴



蒔絵体験

四月十五日(日)
表完堂



寒い日が続いていましたが、この日はぽかぽかとしていて気持ちのいい日でした。京都東山の表完堂さんで蒔絵の体験をさせて頂きました。丸盆と中叢を選ぶことができ、先生の実演に基づき、まずは絵柄を決めます。筆をシンナーで濡らしカシュー漆をつけ直接描いていきます。カシュー漆も四色あり、混ぜて思い思いの色を作ることができました。中々思うように描け

第二委員会では竹取物語を趣向に小寄茶会をしました。物語のキーワード(竹、光、籠、龍、月など)にちなんだお道具を持ち寄り、点検は委員会を手分けして手づくりし、とても良い経験になりました。



ず何度も綿棒にシンナーを含ませやり直しました。少し乾くと先生に金か銀ののせて頂き完成です。他の方がされていた楓の葉にカシュー漆を塗って張り付けるアイデアはすごいと思われました。その後こちらで作られたお茶碗で美味しいお茶とお菓子を頂きました。夢中で描いていたのでとてもほっとしました。その後は京都らしい道を少し歩いた所で季節感を感じる和食を頂き楽しい時間を過ごさせて頂きました。また体験教室に参加させて頂けるのを楽しみにしております。 前田 純江

サマコン報告茶会

八月十九日(日)
南游菴

第四回サマコンファレンスに大仙青年部から三名参加させて頂きました。報告会として小寄茶会をしました。



舟和の芋羊羹を使ったシェ

城北青年部 善琴青年部 天神青年部

堺ツアー 交流行事



利休居士のふるさと堺ならではの交流行事です。利休屋敷跡の見学、南宗寺拝観、田島碩應老師の講話、元全国委員小森宗克先輩のご協力で、茶籠作りの体験など、色々なおもてなしをさせて頂いたります。来堺して下さった皆様にも喜んでいただけると私達も嬉しくなります。来年もまた、どこかの青年部がおいでくださるのを待ちっています。



開催地の東京、江戸にちなんだ取り合わせで

二十四年度卒業生
山本 繁美 部長
長い間役員として大変なお役目をして下さり本当にありがとうございました。新体制の為にもご尽力頂いた事忘れません。心より感謝申し上げます。これからもよろしくお願ひ致します。
大仙青年部一同

文政元年創業 茶と茶道具の店

松倉茶舗

〒590-0946 堺市堺区熊野町東1丁2番22号
Tel.072(238)6188 Fax.072(222)2728

茶道具・華道具・美術工芸・記念品

株式会社 小森商店

直販部：堺市堺区熊野町東3丁2-26 〒590-0946
TEL.(072) 233-3530
FAX.(072) 221-6752



退任挨拶

部長 吉備 万里子

この二年間部長職を務めさせて... 部長 吉備 万里子

初茶会

一月二十二日 温山荘



穏やかな新年の空気の中、一月二十二日に初茶会が開催されました。

発行所 淡交会 和歌山支部 紀州青年部 和歌山市鳴神 248-3 吉備 万里子 方

観梅茶会

二月十九日 紀州田辺梅林



二月といえは一番寒い時期です。今年例年になく寒さが厳しかったためか梅の開花も遅れ、当日は一部咲きで主催者の方も「皆さん来てくださるかな」と心配なさっていました。

チャリティー呈茶

三月十八日 和歌山城西の丸広場 フリーマーケット会場

なにより、この薄茶席を設けるにあたり、青年部の方々のお茶に対する真摯な取り組みに本当に勉強させていただきました。

三月十八日(日)和歌山城西の丸広場のフリーマーケット会場にて、東日本大震災復興支援のチャリティー呈茶をさせていただきました。

わくわく茶会

五月二十七日 和歌山県公館

私たちのテントを興味深くご覧になっていた周りのフリーマーケット参加の方々も、激しい雨に耐えかねて片付けはじめ、広場にポツンと残っていた私たちのテントも、ついには断念して早めに切り上げることに...



お天気に恵まれますように。金子 芳

私たち青年部の活動について少しでも多くの方に知っていただきたいという趣旨のもと行なった「わくわく茶会」のお手伝いをさせていただきました。当日は本当に素晴らしいお天気に恵まれ、お庭の緑が大変美しく、初夏の風が大変爽やかでした。



また、おもてなしをさせていただいた私たちも同じようにゆったりとした気持ちでとても良い時間を過ごさせていただきました。お茶会に足を運んでくださったお客様、ご指導いただいた青年部の皆様から感謝いたします。高瀬麻美子

施設訪問

七月七日 吉備苑

今年も 七月七日 七夕の日
に有田川町の吉備苑にお招き
頂き、利用者のみなさんと
楽しい時間を過ごさせて頂き
ました。

お手伝いの人数が少なかつ
た事もあり、設営もあまり出
来ず点で出しと言う形にも関
わらず、去年訪問させて頂い
たときの事をお話して下さい



方もあり、心待ちにして下さっ
ていたんだと本当にうれしかっ
たです。
青年部の行事としてこれか
らも続けてほしいと思います。
永田 久美



合同茶会

十月十四日 ホテル川久

紀州・きのくに合同茶会 『和と和のわ』

目が覚めると窓越しに海が
見えました。

今回は前日からホテルに泊
り込んでのお茶会です。
お天気も良さそうなのでほっ
としたのもつかの間、身支度
を整える時間がぎりぎりし
かないことに気づきました。



今回は、白浜のホテル川久
で、きのくに青年部さんとし
て初めての合同でのお茶会
です。

去年九月の和歌山の大水害
の時に、紀州ときのくに青年
部の方に大きな
被害が生まれ
た。それをき
かけお互いに
安否を気遣い、
連絡を密に取り
合うようになり
ました。その後
合同で茶会を
との話がでて、あ
つという間にこ
の日を迎えるこ
とになりました。
茶室の大きな
窓からは水平線
の広がった海が
見えます。

お床の掛け物は
淡々斎筆の『長
作閑人楽太平』
ゆったりとした



祝ご卒業

長い間、お疲れ様でした。
今後ますますのご活躍をお
祈りいたします。

北 裕喜彦さん

早いもので、私が紀州青
年部に入って十年の月日が
経ちます。初めは茶道の精
神や心得など何もわからな
い私でしたが、会員の皆様
の暖かいご指導により、こ
うして卒業を迎える事が出
来ました。

途中には、少し間の空い

た月日もありましたが、最
後に白浜の私の地元できの
くに青年部との合同茶会に
参加させて頂き、楽しい思
い出を造る事が出来、心よ
り会員の皆様方に御礼と感
謝を申し上げます。

砂子 裕岐

谷本 佳隆さん

休みがちでしたが、研修
会でのことが特に印象に残
っています。今後ますますの
ご発展を祈念いたします。

津吉 都子さん

とてもいい経験ができた
した、ありがとうございます。

永田 久美さん

在籍十八年、青年部でな
ければ出来ない経験をたく
さんさせて頂き、ありがと
うございました。

林田 敦子さん

もっと早くに入ったら
よかったな。短い間でし
たが楽しかったです。ありが
とうございました。

藤原 広子さん

ご迷惑ばかりお掛けしま
した。周年行事をはじめ、
折々にたくさんの方々にお
会いできたことが宝物です。
ありがとうございます。

山下 由美さん

たくさんの仲間に出会い、
貴重な経験をさせて頂きま
した。ありがとうございます。

平成二十四年度 新会員の皆様

- 奥出進 也さん
 - 保田 正 晴さん
 - 前田 効多郎さん
 - 玉置 佳 睦さん
- よろしくお願ひします。

平成二十四年度 行事

- 初茶会 一月二十一日(日) 温山荘
- 総会 二月五日(日) 午前 和歌山市中央コミュニティーセンター
- 新年会 二月五日(日) 午後 銀平本店
- 近畿第二ブロック協議会 二月十一日(土) 太閤園
- 観梅茶会 二月十九日(日) 田辺梅林
- チャリティー呈茶 三月十八日(日) 和歌山城西の丸広場 フリーマーケット会場

- わくわく茶会 五月二十七日(日) 和歌山県公館
- 近畿第二ブロック交流会 六月二日(土)～三日(日) 淡路島にて (国際会議場・ウエスティンホテル)
- 施設訪問 七月七日(土) 吉備苑
- サマーコンファレンス 七月二十一日(土)～二十三日(月) 東京ドームホテル 裏千家東京道場
- 合同茶会 十月十四日(日) ホテル川久
- チャリティー呈茶 十一月三日(土) 紀州漆器祭り
- 吹きガラス体験 十一月二十五日(日) 和泉市

平成二十五年度 行事予定

- 初茶会 一月二十日(日)
- 総会 二月三日(日)
- 観梅茶会 二月 紀州田辺梅林
- 作り物
- 全体茶会
- チャリティー呈茶

新入会員 募集中!!

テーマ:

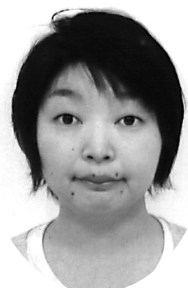
円

目標: みんなで手を取り合おう



発行所
淡交会 南紀支部
きのくに青年部
三重県熊野市新鹿町311-8
山口 優子 方

ご挨拶
部長
山口 優子



この度、新制度にともない未熟ながら南紀青年部の部長を受け持つこととなりました。

私たちの南紀青年部は若千十名の少数青年部です。貴重なこの十名の部員ですが、仕事の都合、出産や育児のため、家庭の都合などでなかなか全員が揃うことは少なく、各種のイベントなどに参加できる人も限られています。

この少人数でも何とか乗り切ってこられるのは、南紀支部の先生方の助けはもちろんのこと、支部に入っていない身近な方々や、地元茶道部の高校生たちの協

力なくしてありえませんが、色々な方々との縁の大切さを思い知ることができました。

この縁を広めていく一つとして、小学校や中学校などで、日本の文化を身に付けるための基礎を学ぶ茶道の授業を設ければいいのに、といつも思います。私自身もっと早く時間も体力も今以上にある時期に茶道と出会っていたら、今とはまた違った自分に出会っていたのではないかと思うことがあります。しかし、今だからこそこのような気持ちになったのであって、もっと若いうちに出会っていたとしても、「お茶」というものを深く感じることはできなかったかもしれないですが、深くその意味を理解できないとしても、小さな頃から「お茶」とかわっていたならば何か変わるのではないかと思えます。

今のこの想像力の欠如した人々が増えている時代だからこそ、本来の「日本の心」を伝える茶道がたくさんの人々に広まればいいと思います。そのため、この地域で皆さんと協力し合い、色々なイベントにも参加し、「お茶」の楽しさを伝えるべく、地道に活動していきたいと思えます。

私一人では、何一つできません。皆様方のお力を一杯お借りして頑張りたいと思えます。



正遷座 百二十年大祭



四月十三日から十五日、本宮大社では例大祭が行われます。今年は、例年の例大祭に加え、正遷座百二十年であるため、四月九日から四月十六日まで例大祭のほかイベント等がいくつか行われました。きのくに青年部南紀支部は、その期間

中の四月十四日に、参詣道の階段途中にお茶席を設け、参詣者の方々に一休みをさせていただきました。

百段ほどある階段は、木立の中で清涼ですが、やはり厳しく、参詣される方の中には、「一休みできて、よかったよ。」といってくださる方や、「こんなところでしたらいいわ。」といってくださる方も多くおられました。旅行にいられたご家族のお子さんが「初めて」といいながら気に入ってくださって、ちょこちょこっと何度も顔を出してくれたのも印象深いことでした。

午後には、神輿が大社から旧社地へまで練り歩きます。男手の主な神輿のほか、女神輿や子供神輿などのお神輿が何台も続き、かわいらしく華やかでした。

松野 恵子



新入会員募集中!

裏千家茶道を愛好する五十歳以下の方ならどなたでも入会できます。様々な活動を通してお茶の心を学び、自らを高め、友情を育みませんか。

平成二十五年からの青年部はより入会しやすい組織へ衣替えしました。この機会にどうぞ、青年部へご入会下さい。よろしくお願ひします。

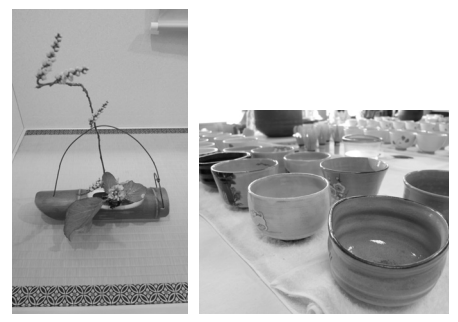
まずは、社中の先生にご相談ください。

【年会費】

二五歳まで 一、〇〇〇円
二五歳以上 三、〇〇〇円

《お問い合わせ・申し込み》

お近くの青年部員へお気軽にお問い合わせ下さい。



第四回 サマーコンファレンスに 参加して



「見つけよう茶の力、広めよう茶の心」と題して、平成二十四年七月二十一日から三日間、東京ドームホテルで開催されました。私にとってこの三日間は、きのくに青年部を再発見し、自分自身を見つめなおす良い機会となりました。



きのくに青年部も変革の時を迎えています。そこで「目標は大きく、それぞれの目当ては手が届きそうな物に、達成感を感じながら、目標に近づいて行こう。」そう考えました。「楽な道を選んでこなかったから今がある。」中田英寿氏の言葉です。氏が選手時代に目標に向かって行く姿が目につかぶようでした。この言葉に勇気をもらい私も目標に向かって邁進していこうと思えました。

【新年総会】の様子



おいしい料理をいただいた後は、今年度行事について話し合います。前年度の反省なども踏まえ目標を決めます。

【春よ来い】の様子



天気にも恵まれ、春の日の差しを感じながらの野点です。



開放感があり、お客さんとの会話も弾みました。

紀州青年部と 合同茶会

十月十四日ホテル川久（白浜町）に於いて、集うをテーマに「紀州・きのくに合同茶会 和と和のわ」が開催されました。

来年度からの新体制に伴い青年部名が一新されるこの機会に初めての合同茶会を持つ事ができました。遠い場所まで、来て下さる心配でしたが、多くの先生方が来て下さいました。本当に有難うございました。

お互いに初めての事に挑戦できました事は、次年度の大きな力になったと思えます。皆様、本当に有難うございました。

祝 卒業 中野 俊秋さん 山口 秀子さん

青年部として様々な貴重な体験をさせて頂きました。そしてこれからも人とのつながりを大切に、どんな時でもどんな所でも喫茶の気持ちで過ごしていきます。ありがとうございました。山口 秀子

御卒業 おめでとうございます 中野俊秋さん

イベントなどでは立派なカメラを持参し、いつも現像して持ってきていただきありがとうございます。

地元高校の茶道部も教えており、高校生にとっても人気がありましたね。覚えが悪い私に、何度も丁寧に指導していただきありがとうございました。

山口秀子さん いつも優しい笑顔で、周りの方みんなに気を使ってくださいました。スタイルが良くておしゃれで明るくて、外見も内面も爽やかな方だなあと拝見していました。



お二人の益々のご発展をお祈りいたしております。

平成二十四年度 行事

- 《一月二十二日》 新年総会・昼食懇親会 イルド・フランス (新宮市)
- 《四月八日》 春よこい!! 西村記念館
- 《四月十四〜十五日》 正遷座百二十年大祭 熊野本宮大社
- 《四月二十八日》 チャリティー茶会 (近畿ブロック) 生國魂神社(大阪)
- 《六月二日〜三日》 近畿ブロック交流茶会 ウェスティンホテル淡路
- 《六月二十五日》 地区説明会 ハートンホテル
- 《七月十四日》 本宮大社献茶式 熊野本宮大社
- 《七月二十一日〜二十三日》 第四回 サマーコンファレンス (青年部) 東京ドームホテル
- 《十月十四日》 紀州青年部との合同茶会 ホテル川久
- 《十月二十八日》 あげいん熊野詣 那智大社
- 《十一月三日》 佐藤春夫・筆塚協賛茶会 新宮市民会館
- 《十二月》 納会 未定(新宮市)
- 《十二月一日》 青年部全国代表者会議 京都市

同風

機関紙命名 鵬雲齋大宗匠
 題字揮毫 納屋宗淡宗匠
 発行所 (社)茶道裏千家淡交会青年部
 近畿第二ブロック
 発行人 長
 ブロック 青 山 総一郎



|| 利休居士道歌 ||

その道に
 入らんとする心こそ
 我身ながらの師匠なりけれ

第四回サマーコンファレンス

7月21日(土)23日
 東京ドームホテル・東京道場

初めて全国規模の青年部行事に参加しました。事前説明会を受けて、リーダーから班の皆さんの自己紹介をもらい、お呈茶の持ち物の支持をうけながらも不安いっぱい現地入りしました。お茶ただ一つの共通点でつながっている私たちは初対面とは思えないくらいにすぐに打ち解け、皆

さんとおいしく楽しく持ち寄ったお菓子とお茶を頂きました。その後は講演やお家元対談を拝聴し、班ごとにグループディスカッションを行い、皆さんの青年部での活躍やお茶への思いを聞き刺激を受けました。また今回は東日本震災の報告もあり、その悲惨な有様やボランティアでお茶を差し上げておられる話を伺いショックを受けたと同時に、お茶で人々を癒す事ができ嬉しく思いました。

今回、初めて会うお茶の仲間達と楽しく過ごし、体験談を聞き改めてお茶の素晴らしさを感じました。最終日の東京道場でのお呈茶、見学では業縁先生をはじめ全国委員、LT出向



員の皆さんのおもてなしに本当にご褒美を頂いたと感じました。最後になりましたが、このような機会を与えて下さった方々に感謝致します。ありがとうございました。
 なにわ津青年部
 宮本 真穂

サマーコンファレンスに、期待半分、不安半分の気持ちで、初めて参加させていだきました。一か月近く前から、グループ割されたリーダーを中心にメール連絡が続き、皆さんの顔を見るまでは不安もありましたが、お茶という共通でき地に打ち解けることができた元のものを持ち寄ったお菓子や各地の紹介



などをして、楽しい時間は“あつ”という間に過ぎました。多くの方の講演を聴いている中で、自分自身の人生・生活についても色々と考えさせられる時間となりました。また、懇親会も抽選で座席が決められ、たくさんの仲間と出会いお話をさせていただくことができました。参加するチャンスをおいただきました事、感謝いたします。
 なみはや青年部
 川原 美恵子

次期役員予定者研修会

十一月十日(土) 大阪産業創造館に於いて、次期役員研修会を開催しました。全体会では総本部総務部田淵吉弘様に講話をいただきました。また、その後次期役職ごとに三つの分科会に分かれました。

平成 25・26 年度 近畿第二ブロック役員名簿				
役職名	氏名	支部		
顧問	市八一 弘義 孝也 尚 岐進 悦美 由幹 英一 青郎 博里 規裕 奈子 香明 祐子 史子 けい子 子子 芳か 裕典 会 夫 子 也 真 次 華 貴 一 子 子 美 会 子 男 志 男 樹 子 義 美 惠 子 保 会 綾 礼 子 章 惠 子 子 子 江 步 子	大阪南 大阪東北 大阪東南 大阪山 大阪東 大阪西南 大阪北 大阪山 大阪南 大阪北 大阪山 大阪東 大阪南 大阪北 大阪山 大阪南 大阪北 大阪東 大阪南 大阪北 大阪東 大阪南 大阪北 大阪東 大阪南 大阪北 大阪東 大阪南 大阪北 大阪東 大阪南		
相談役	山谷野田 本田 森畑 田川 井上 藤井 賀藤 山北 川谷 井野 瀬山 和田 山口 田口 旬 藤 子 本 藤 井 委 川 木 池 谷 本 泉 池 倉 野 瀬 田 委 場 島 杉 谷 田 城 川 岡 佐 藤 田 委 村 崎 本 谷 野 葉 島 部 田 谷 野	大阪南 大阪東北 大阪東南 大阪山 大阪東 大阪西南 大阪北 大阪山 大阪南 大阪北 大阪山 大阪東 大阪南 大阪北 大阪山 大阪南 大阪北 大阪東 大阪南 大阪北 大阪東 大阪南 大阪北 大阪東 大阪南 大阪北 大阪東 大阪南 大阪北 大阪東 大阪南		
ブロック長	青山 石塩 松東 村松 津松 松青 大 山	大阪北 大阪西南 大阪北 大阪山 大阪東 大阪南 大阪北 大阪山 大阪南 大阪北 大阪東 大阪南		
副ブロック長	青山 石塩 松東 村松 津松 松青 大 山	大阪北 大阪西南 大阪北 大阪山 大阪東 大阪南 大阪北 大阪山 大阪南 大阪北 大阪東 大阪南		
幹事	青山 石塩 松東 村松 津松 松青 大 山	大阪北 大阪西南 大阪北 大阪山 大阪東 大阪南 大阪北 大阪山 大阪南 大阪北 大阪東 大阪南		
副幹事	青山 石塩 松東 村松 津松 松青 大 山	大阪北 大阪西南 大阪北 大阪山 大阪東 大阪南 大阪北 大阪山 大阪南 大阪北 大阪東 大阪南		
ブロック委員	青山 石塩 松東 村松 津松 松青 大 山	大阪北 大阪西南 大阪北 大阪山 大阪東 大阪南 大阪北 大阪山 大阪南 大阪北 大阪東 大阪南		
研修委員	青山 石塩 松東 村松 津松 松青 大 山	大阪北 大阪西南 大阪北 大阪山 大阪東 大阪南 大阪北 大阪山 大阪南 大阪北 大阪東 大阪南		
広報委員	青山 石塩 松東 村松 津松 松青 大 山	大阪北 大阪西南 大阪北 大阪山 大阪東 大阪南 大阪北 大阪山 大阪南 大阪北 大阪東 大阪南		
交流会	青山 石塩 松東 村松 津松 松青 大 山	大阪北 大阪西南 大阪北 大阪山 大阪東 大阪南 大阪北 大阪山 大阪南 大阪北 大阪東 大阪南		
監事	青山 石塩 松東 村松 津松 松青 大 山	大阪北 大阪西南 大阪北 大阪山 大阪東 大阪南 大阪北 大阪山 大阪南 大阪北 大阪東 大阪南		
研	青山 石塩 松東 村松 津松 松青 大 山	大阪北 大阪西南 大阪北 大阪山 大阪東 大阪南 大阪北 大阪山 大阪南 大阪北 大阪東 大阪南		
広	青山 石塩 松東 村松 津松 松青 大 山	大阪北 大阪西南 大阪北 大阪山 大阪東 大阪南 大阪北 大阪山 大阪南 大阪北 大阪東 大阪南		
交	青山 石塩 松東 村松 津松 松青 大 山	大阪北 大阪西南 大阪北 大阪山 大阪東 大阪南 大阪北 大阪山 大阪南 大阪北 大阪東 大阪南		

会計セミナーでは総本部財務部長川村修様より会計について、部長・総括幹事向けセミナーでは青年部のOBである澤村剛士様より組織の在り方について、委員長・幹事向けセミナーでもOBである岡田豊子様より委員会の運営について、それぞれ講義いただきました。